



工事特記仕様書

I. 工事名

旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

II. 工事概要

1. 工事場所

津市殿村地内

2. 敷地面積

21,582.00m2

3. 工事内容

棟名称

管理棟・屋外便所棟・観覧席

構造

鉄骨造

建築面積

526.62m2

延べ面積

829.06m2

工事項目

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）

2. 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章

項目

特記事項

①

一般共通事項

①適用基準等

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。

1) 建築工事標準詳細図  
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版）

2) 建築物解体工事共通仕様書  
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成24年版）

3) 津市公共建築物等木材利用方針

②施工条件

施工方法及び検査に関する事項  
※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。  
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。  
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。  
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。  
※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。  
※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。  
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。  
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。  
※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。  
※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。  
※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

③発生材の処理等  
(1.3.11)

④建設副産物情報交換システムの利用

⑤三重県産業廃棄物税

6.電気保安技術者  
(1.3.3)

⑦技能士  
(1.5.2)

⑧建築材料等

⑨化学物質の濃度測定  
(1.5.9)

⑩特別な材料の工法

⑪騒音・振動の防止

⑫工事写真

⑬完成図書  
(1.7.2)

⑭完成写真

⑮設備工事との取合い

⑯設計GL

⑰養生その他

⑱事故の発生時

⑲消防関係の手続き

⑳労働安全衛生法に基づく労働生害防止措置

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。  
2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（○図示（図面番号： A-04 ） ・（ ））  
測定方法（○パッシブ法 ・アクティブ法 ）  
報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。  
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

○作成する（○完成図 ○保全に関する資料 ・（ ））  
○完成図作図範囲（設計図を訂正）  
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

○デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。  
（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部  
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。  
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

施工範囲  
○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強  
○図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強  
○駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

○ 図示のベンチマーク(B.M) -40 mm  
(現状地盤はB.M mm)

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にない補修すること。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。  
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成  
○本工事（○建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事）  
・別途工事  
2) 防火対象物使用開始届出書  
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

⑳不正軽油の使用の禁止

22.屋外広告物

1) 一般事項  
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。  
2) 調査の協力  
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。  
3) 是正措置  
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

MEMO

株式会社ジェイエイ津安芸

三重県津市一色町 211

TEL 059-224-8941  
FAX 059-224-9001

作製年月日

訂正年月日

御承認

作 図

工事名称

令和元年度河川ス振継第2号  
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称

特記仕様書（1）

縮尺

図番

T-01



鉄骨工事

(構造特記仕様書による)

7

①施工管理技術者 (7.1.4)

②製作工場 (7.1.3)

③鋼材 (7.2.1)

④高カボルト (7.2.2)

⑤普通ボルト (7.2.3)

⑥溶融亜鉛めっき高カボルト (7.3.2)

⑦アンカーボルト (7.2.4)

⑧溶接材料 (7.2.5)

⑨ターンバックル (7.2.6)

⑩デッキプレート (7.2.7)

⑪柱底均しモルタル (7.2.9)

⑬仮組 (7.3.10)

①適用する

(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・J・**R**・M・H・S

材質、形状及び寸法

○図示(図面番号:S-23、24)

種類

○トルシア形高カボルト2種(S10T)

・JIS形高カボルト2種(F10T)

○溶融亜鉛めっき高カボルト1種(F8T相当)

高カボルトの径

○図示(図面番号:S-25)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示(図面番号:S-07、25)

すべり係数試験

○行わない・行う

試験方法等

・( )

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・回転量( )°

ボルト及びナットの材料等、ボルトの径

○図示(図面番号:S-07)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示(図面番号:S-07)

摩擦面の処理

・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)

○りん酸塩処理

すべり耐力等の確認方法

・すべり耐力試験

試験方法等

・( )

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示(図面番号:S-07、25)

適用箇所及び種類

構造用

○図示(図面番号:S-08、25)

・SNR400B

・( )

建方用

・図示(図面番号: )

・SS400

・( )

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

・A種

・B種

・C種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

・標準仕様書[表7.2.3]

・図示(図面番号: )

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

・図示(図面番号: )

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・図示(図面番号: )

材料

○標準仕様書[7.2.5](a)(b)以外の溶接材料

( )

種類及びねじの呼び等

○図示(図面番号:S-25)

建築用ターンバックル胴

・割枠式

・( )

建築用ターンバックルボルト

○羽子板ボルト

・( )

材質、形状及び寸法

○図示(図面番号:S-12、13、14)

溶接方法

○図示(図面番号:S-12、13、14)

柱底均しモルタルの工法、厚み

○A種(30)mm

・B種( )mm

無収縮モルタルの材料及び調合

○標準仕様書[7.2.9](b)

・( )

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・JIS G 0901により行う

○行わない・行う

仮組を行う範囲

・図示(図面番号: )

⑭溶接作業における技能資格者 (7.6.3)

⑮溶接部の開先 (7.6.4)

⑯溶接施工 (7.6.7)

⑰溶接部の試験 (7.6.11)

⑱錆止め塗装 (7.8.3)

19.耐火被覆 (7.9.2)

⑳軽量形鋼構造 (7.11.2)

溶接作業の技量付加試験

○行わない・行う

開先の形状

○図示(図面番号:S-06)

エンドタブの切除

・適用箇所

図示(図面番号: )

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

・低応力高サイクル疲労を受ける部位

図示(図面番号: )

スカラップの形状

○図示(図面番号:S-26)

(ノスカラップ工法)

試験の種類

○超音波探傷試験

・( )

溶接区分	AQOL(%)	検査水準	備考
現場溶接	・2.5 ・4.0		・計数連続生産型抜取検査
工場溶接	・2.5 ○4.0	○6	

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリフの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)

○標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]

(A)種

耐火被覆材の接着する面への塗装

・行わない・行う

適用箇所

図示(図面番号: )

種類

・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]

( )種

・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2]

( )種

部位	種別	仕様

接合部(ボルト接合の場合)

○普通ボルト接合

・( )

8

・ブロック・ALCパネル

・押出成形セメント板

1.補強コンクリートブロック造 (8.2.2)

(8.2.4)

(8.2.5)

(8.3.3)

2.コンクリートブロック塀壁及び塀 (8.3.2)

(8.3.3)

3.ALCパネル (8.4.2)

(8.4.3)

(8.4.4)

(表8.4.2)

(8.4.5)

(表8.4.3)

種類

・空洞ブロック16

・図示(図面番号: )

圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法

・図示(図面番号: )

各部の配筋

・図示(図面番号: )

コンクリートの調合

・標準仕様書[表8.2.2]以外のとき

・21N/mm<sup>2</sup>

・( )

ブロックの種類

・標準仕様書[表8.3.1]

・図示(図面番号: )

圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ

・図示(図面番号: )

各部の配筋

・図示(図面番号: )

化粧

・有り

・無し

種類	単位 荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	呼び寸法		構法	耐火性能
		厚さ(mm)	幅(mm)		
・外壁 パネル	・( )	・100 ・( )	・( )	・A種・B種	・( )時間 ・無し
・間仕切 壁パネル	・( )	・100 ・( )	・( )	・C種・D種 ・E種	・( )時間 ・無し
・屋根 パネル	・( )	・100 ・( )	・( )	・F種	・( )時間 ・無し
・床 パネル	・( )	・100 ・120 ・150	・( )	・F種	・( )時間 ・無し

パネル幅を300mm以下とする部分

・適用あり

外壁、屋根及び床パネル構法

風圧力に対応した工法

・適用あり

出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅(mm)

・( )

伸縮目地への耐火目地材の充填

・適用する(材料: )

4.押出成形セメント板 (8.5.2)

(8.5.3)

(8.5.4)

(表8.5.1)

(8.5.5)

(表8.5.2)

種類	表面形状及び 原料区分	板厚(mm)	働き幅 (mm)	工法
・外壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・( )	・( )	・A種 ・B種
・間仕切壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・( )	・( )	・B種 ・C種

パネル相互の目地幅(mm)

・長辺8以上、短辺15以上

・( )

出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅(mm)

・15

・( )

目地及び隙間の処理

・( )

外壁パネル構法

風圧力に対応した工法

・適用あり

間仕切壁パネル構法

パネルに欠き込みを行う場合

・パネル開口の限度

・図示(図面番号: )

①アスファルト防水 (表9.2.3)

～(表9.2.8)

(9.2.2)

(9.2.3)

改質アスファルトシート

種類

○標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]

・図示( )

厚さ

○標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]

・図示( )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類

・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]

・図示( )

厚さ

・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]

・図示( )

絶縁用シート

・ポリエチレンフィルム(厚さ0.15mm以上)

・フラットヤーंकロス(70g/m<sup>2</sup>)

押え金物

○アルミ製80×30×t2.0

・図示( )

断熱材

○屋根保護防水断熱工法

種類

(硬質ウレタンフォーム)

厚さ(35)mm

・屋根露出防水断熱工法

種類( )

厚さ( )mm

屋根保護防水

立ち上がり部の保護コンクリート

・図示(図面番号: )

乾式保護材

・使用する

立ち上がり部保護れんが

・JIS R 1250

・( )

脱気装置

・設置数量

図示(図面番号: )

種類( )

屋根露出防水における仕上塗料

・図示(図面番号: )

種類( )

使用量( )

屋内防水密着工法における保護層

・図示(図面番号: )

(9.2.4)

防水層の下地モルタル塗り

・図示(図面番号: )

立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種別

種類

・B種

・( )

(9.2.4)

屋根露出防水絶縁断熱工法

ルーフトレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置

・図示(図面番号: )

(9.2.5)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

○水下80mm以上

・( )

床タイル張り

・水下60mm以上

・( )

屋上排水溝

○図示(図面番号:A-08)

⑨防水工事

2.改質アスファルトシート防水 (9.3.2)

(9.3.3)

(表9.3.1)

～(表9.3.3)

(9.3.3)

改質アスファルトシート

種類

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示( )

厚さ

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示( )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示( )

厚さ

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示( )

仕上塗料

・図示(図面番号: )

種類( )

使用量( )

脱気装置

・設置数量

図示(図面番号: )

種類( )

断熱材

・屋根露出防水絶縁断熱工法

種類( )

厚さ( )mm

種別	施工箇所

3.合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)

(9.4.3)

(表9.4.1)

(表9.4.2)

(表9.4.3)

(9.4.2)

ルーフィングシート

種類

・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

・図示( )

厚さ

・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

・図示( )

絶縁用シート

・発砲ポリエチレンシート

・( )

固定金具

材質、寸法形状( )

・図示(図面番号: )

断熱材

材質、厚さ( )

・図示(図面番号: )

(9.4.3)

仕上塗料

・図示(図面番号: )

種類( )

使用量( )

S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法

立ち上がり面のシート厚さ

・15mm

・( )mm

屋内保護密着工法

モルタル塗り厚さ

・( )mm

床塗りの工法

・標準仕様書[15.2.5](b)(2)(3)

・( )

保護コンクリートの厚さ

・( )mm

立ち上部の保護モルタル塗厚さ

・7mm以下

・( )mm

目地処理(S-F1、S-F2、SI-F1、SI-F2、S-C1)

PC下地、ALC下地でS-C1の場合

・図示(図面番号: )

増張り(S-F1、SI-F1、S-C1)

PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合

・図示(図面番号: )

機械的固定工法

風圧力に対応した工法

・図示(図面番号: )

施工箇所	種別
	X-1
ハト小屋	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置(X-1)

・設置数量

図示(図面番号: )

種類( )

保護層(Y-2)

・図示(図面番号: )

仕上塗料

・図示(図面番号: )

種類( )

使用量( )

(9.5.3)

(表9.5.1)

(表9.5.2)

④塗膜防水 (9.5.3)

(表9.5.1)

(表9.5.2)

⑤ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1)

(9.6.3)

(9.6.4)

適用部位

○図示(図面番号:A-24)

防水層の種別及び工程

○C-UI


・C-UP

下地処理(b)(1)から(3)以外の場合

○図示(図面番号:A-24)

MEMO

株式会社ジェイエイ津安芸  
三重県津市一色町211  
TEL 059-224-8941  
FAX 059-224-9001



作製年月日

訂正年月日

御承認

作図

工事名称  
令和元年度河川系振継第2号  
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称  
特記仕様書(3)

縮尺

図番  
T-03





[illegible]

17カーテンウォール工事

1.種類  
(17.1.1)  
(17.1.3)

2.性能等  
(17.1.3)  
(17.2.2)  
(17.3.2)

3.メタルカーテンウォール  
(17.2.3)  
(表17.2.1)  
(17.2.5)  
(17.2.6)

4.PCカーテンウォール  
(17.3.3)  
(17.3.4)  
(17.3.5)  
(17.3.6)  
(17.3.9)

・メタルカーテンウォール(種類)  
・PCカーテンウォール

耐風圧性( )  
耐震性( )  
水密性( )  
気密性( )  
耐火性( )  
耐温度差性( )  
遮音性( )  
断熱性( )  
性能の確認・判定方法( )  
シーリング材の種類  
断熱材( )

カーテンウォールの材料  
材料規格等見え掛け部の仕上げ映像調整  
・アルミニウム製・標準仕様書[16.2.3]  
・A-1・行う  
・( )・( )  
・A-2  
製品の寸法許容差・標準仕様書[表17.2.1]  
ガラス溝の寸法、形状等カーテンウォール製作所の仕様による  
・図示(図面番号: )  
取付け  
躯体付け金物取付け位置の寸法許容差  
・標準仕様書[表17.2.2]  
・( )  
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差  
・標準仕様書[表17.2.3]  
・( )  
ガラスの取付け・構造用ガスケット(図示(図面番号: ))

カーテンウォールの材料  
コンクリートの種類及び品質  
鉄筋・SD295A・( )  
補強鉄線・3.2・( )  
耐火目地材・( )  
配筋・図示(図面番号: )  
先付け材料  
・サッシ枠・ゴンドラ用ガイドレール・( )  
製品の寸法許容差・標準仕様書[17.3.13]による・( )  
表面仕上げ材・磁器質タイル  
石材(・花こう岩・大理石・( ))  
取付け  
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差  
・標準仕様書[表17.3.2]  
・( )  
ガラスの取付け・構造用ガスケット(図示(図面番号: ))

18塗装工事

1.材料

2.施工一般  
(18.2.2)  
～(18.14.2)

3.耐候性塗料塗り(DP)  
(18.7.2)  
(表18.7.1)  
(18.7.4)

防火材料の指定箇所( )

塗料塗り		施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
種類	種別				
SOP	・A種 ○B種	階段裏	鉄鋼面	・A種 ・B種 ○C種	JIS K5674 工場1回塗り 現場1回塗り
UC	○A種 ・B種	階段笠木	木部	・A種 ○B種	
NAD	・A種 ○B種	軒天	ケイカル板	・A種 ○B種	

下地の種類施工箇所上塗り等級コクリート、EGP面における種別  
・1級・2級・A種・B種  
・3級・C種

1.帯コンクリート張り  
(19.2.2)

2.コンクリート床張り  
(19.2.2)

3.特殊機能床材  
(19.2.2)

4.コンクリート幅木  
(19.2.2)

5.施工  
(19.2.3)

6.カーペット敷き  
(19.3.3)  
(19.3.4)  
(表19.3.1)  
(表19.3.2)

種類色柄厚さ(mm)継目  
・NC・NF○無地・柄物・2.0○(2.5)○溶接・突付け

寸法種類厚さ(mm)  
・300×300・コンポジションビニル床半硬質・2.0  
・450×450・コンポジションビニル床軟質・( )  
・ホモジニアスビニル床・( )

・帯電防止ビニルシート・床タイル寸法(mm)厚さ(mm)種類( )  
○視覚障害者用床タイル  
材質(○ビニル床タイル・( ))  
寸法(○300×300・( ))  
・耐動荷重性床シート  
種類( )寸法( )厚さ(mm)  
・ゴム床タイル  
種類( )寸法( )厚さ(mm)  
○防滑り性床シート種類(複層ビニルシートFS)性能(耐摩耗性)厚さ(2.5)  
高さ○図示(図面番号: A-01)○60mm○300mm  
厚さ・図示(図面番号: )○1.5mm以上  
下地・モルタル・セルフレベルリング・木造  
○(石膏ボード、ラミネ化粧板)

継目・突付け・熱溶接工法

織りじゅうたん  
種別色柄パイル形状織り方  
・A種・無地・ループ・ウィルトンカーペット  
・B種・柄物・カット・ダブルフェースカーペット  
・C種(標準品)・カット、ループ併用・アキスミンスターカーペット

種別色柄パイル形状パイル長・総厚工法  
・タフテットカーペット・無地・ループ・パイル長・グリッター  
・柄物・カット・5～7mm・全面接着  
・4～6mm  
・ニードルパンチカーペット・無地・柄物・総厚さ・全面接着  
・( )  
○タイルカーペット○無地・柄物○ループ・カット・総厚さ、サイズ  
○6.5mm・全面接着  
○500角・

○帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)  
タイルカーペットの敷き方  
平場○市松敷き・模様流し・図示(図面番号: )  
階段部分  
・市松敷き・模様流し・図示(図面番号: )  
下敷き材・第2種2号、呼び厚さ8mm  
・図示(図面番号: )  
見切り、押え金物  
・材質( )・種類( )  
・形状(図面番号: )

・弾性ウレタン塗床材(JISK 5970)  
仕上げ  
・平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ  
・エポキシ樹脂塗床材(JISK 5970)  
仕上げ  
・薄膜流し展べ仕上げ  
・厚膜流し展べ仕上げ(・平滑・防滑)  
・樹脂モルタル仕上げ(・平滑・防滑)  
・塗膜型塗床材仕上げ

8.フローリング  
張り  
(19.5.2)  
(19.5.4)  
(19.5.5)  
(19.5.6)  
(19.5.7)

材料・単層フローリング  
・フローリングボード(1等)・フローリングブロック(1等)  
・モザイクカット(1等)  
・複合フローリング  
・釘留め工法  
材料種別樹種  
・フローリングボード(根太張用)・なら・( )  
・複合フローリング(根太張用)・A種・B種・C種  
防湿処理・図示(図面番号: )  
・接着工法  
材料樹種厚さ(mm)大きさ(mm)裏面緩衝材  
・フローリングボード(直張用)・なら・15・合成樹脂発泡シート  
・フローリングブロック(直張用)・( )  
・複合フローリング(直張用)・C種・A種・B種  
・モザイクカット(直張用)・図示( )・図示( )・図示( )  
現場塗装  
仕上げ・ウレタン樹脂ワニス塗り(・A種・B種)  
・オイルステイン塗りのうえワックス塗り  
・生地のままワックス塗り  
・( )  
種別・A種・B種・C種・D種  
・D種の畳床TK-(・I・II・III・IV)

9.畳敷き  
(19.6.2)  
(表19.6.1)

10.せっこうボード  
その他のボード  
及び合板張り  
(19.7.2)  
(表19.7.1)  
(19.7.3)  
(表19.7.4)  
(表19.7.5)

材料種別厚さ(mm)  
○せっこうボード継ぎ目処理  
突き付け工法壁天井○9.5(準不燃)  
○12.5(不燃)  
○化粧せっこうボード○トラバーチン模様・9.5(不燃)  
・木目模様○9.5(準不燃)  
○ロックウール化粧吸音板○普通・9  
○(12)  
・( )  
○立休模様・( )  
○けい酸カルシウム板○タイプⅡ0.8FK○(8)  
○化粧けい酸カルシウム板○タイプⅡ0.8FK○(6)

合板張り  
・普通合板表面の樹種・生地のまま  
・(透明塗料塗り)ラワン・(不透明塗料塗り)しな  
・( )  
品質( )厚さ(mm)  
接着の程度・1類(湿潤箇所)・( )m  
防虫処理・( )  
・天然化粧合板化粧板の種類・( )  
厚さ(mm)  
接着の程度・1類(湿潤箇所)・( )m  
防虫処理・( )  
・特殊加工合板化粧加工の方法  
・オーバーレイ・プリント  
・塗装・( )  
表面性能( )厚さ(mm)  
接着の程度・1類(湿潤箇所)・( )m

遮音シール材  
・適用する(・シーリング材・ジョイントコンパウンド)  
合板類の張り付け・B種・A種  
せっこうボードの目地工法  
・継目処理・突付け・目透し  
下地・軽量鉄骨・木造・( )

11.吸音材張り  
(19.7.2)

12.壁紙張り  
(19.8.2)

13.断熱材  
(19.9.2)

材料種別厚さ(mm)工法  
・吸音用グラスウールボード  
・グラスウール成型板・2号32K・25・グラスクロス19  
メッシュ張り(小口共)  
・化粧ボタン止め  
(タテ、ヨコ共@300程度)

特定フロンを含まないもの

施工箇所材料防火性能品質  
壁・天井ビニルクロス不燃量産品

素地ごしらえ  
せっこうボード面○B種・A種  
コンクリート面・B種・A種  
モルタル・プラスター面・B種・A種

施工箇所材料種類厚さ(mm)  
土間・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材  
○押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)  
・硬質ウレタンフォーム断熱材  
・フェノールフォーム断熱材  
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材  
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)  
・A種硬質ウレタンフォーム断熱材  
・フェノールフォーム断熱材(3種2号を除く)  
外壁○グラスウール断熱材24k100  
内壁○グラスウール断熱材24k50

1.フリーアクセスフロア  
(20.2.2)

2.可動間仕切  
(20.2.3)

3.移動間仕切  
(20.2.4)

4.トイレブース  
(20.2.5)

試験方法20.2.2(2)(i)～(iv)  
寸法精度20.2.2(5)(i)～(iii)

組立て方式  
・スタッド式・パネル式・スタッドパネル式  
寸法及び形状・図示(図面番号: )  
表面材の材質及び仕上げ・図示(図面番号: )  
遮音性・高遮音

操作方法○手動式・電動式  
表面材の材質及び仕上げ○図示(図面番号: A-18)  
遮音性・高遮音  
ハンガーレールの取付け下地の補強  
・標準仕様書[20.2.4](3)○図示(図面番号: A-18)  
ハンガーレールの固定方法  
・溶接○あと施工アンカー(寸法: M10)

表面仕上○高圧メラミン樹脂系化粧板t40  
・ポリエステル樹脂系化粧板  
幅木○図示(図面番号: A-16、A-23)  
扉小口の材質・ステンレス製○アルミ製

MEMO

株式  
会社ジェイエー津安芸  
三重県津市一色町211  
TEL 059-224-8941  
FAX 059-224-9001

作製年月日  
訂正年月日

御承認

作図

工事名称  
令和元年度河川系振替第2号  
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事  
図面名称  
特記仕様書(6)

縮尺

図番  
T-06

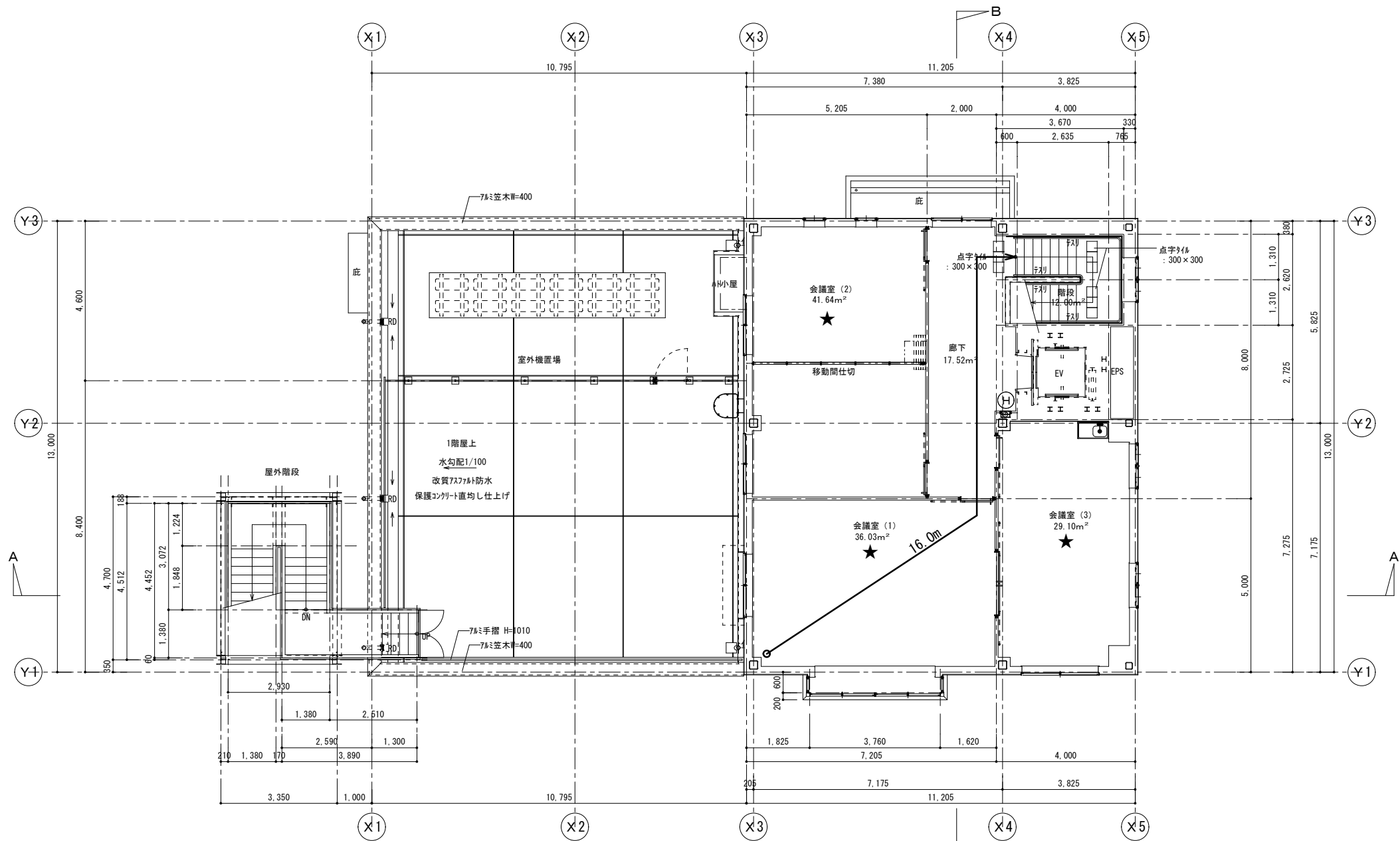




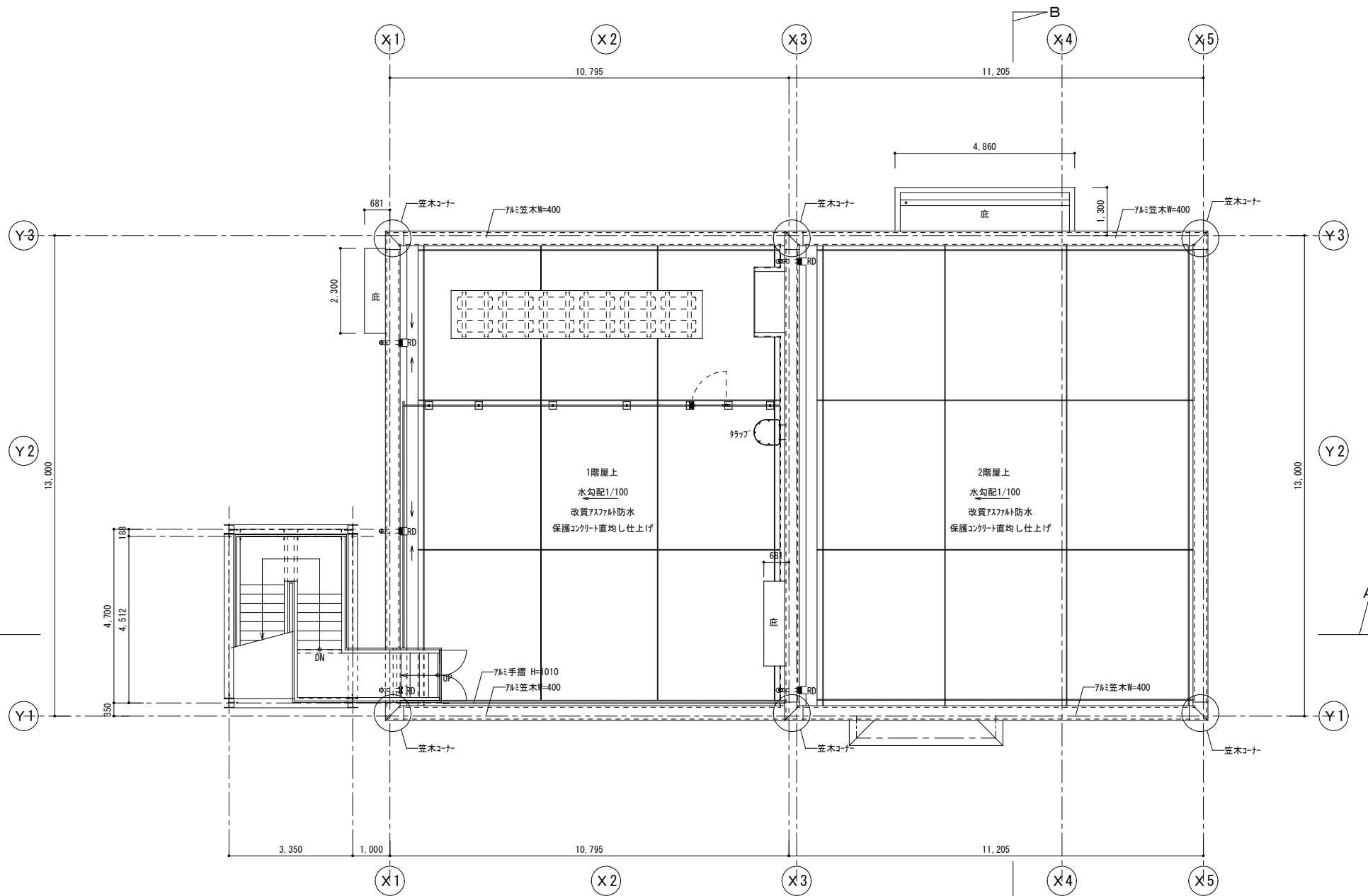
管理棟 外部仕上																	不燃・準不燃材料認定番号					
屋 根		改質7A3防水保護コンクリート直均し仕上げ 成型伸縮目地:8'リフレフォーム製 t=25								開口部		玄関ﾄﾞｱ:7A3製 窓:7A3サッシ(7A3付処理) 扉:ｽﾌﾟｰﾙﾄﾞ(ﾌｯｸ素樹脂焼付塗装)							ｶﾞｰﾃﾞﾝ'ｸﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ		NM-8697	
ﾊﾞﾙｺﾞﾝ		笠木:7A3製押出材 W=400 立上り:露出7A3防水															せっこうｶﾞｰﾄﾞ t=12.5		NM-8619			
ﾙｰﾌﾄﾚｲﾝ		鉄鉄製ﾙｰﾌﾄﾚｲﾝφ100 横引き								断熱材		屋根:硬質ｸﾞﾗﾌｵｰﾑ t=35 外壁:ｸﾞﾗｽｸﾞ-424kg/m3 t=100 充填 土間下:硬質ｸﾞﾗﾌｵｰﾑ t=30 その他 ｺﾝｸﾘｰﾄ立上り・設備ﾊﾞｲﾍﾞﾙ・軒裏・出窓等:ﾛｯｸｰﾙ t=25 吹付							化粧せっこうｶﾞｰﾄﾞ t=9.5		NM-1864	
壁 樋		硬質ｸﾞﾘﾝﾄﾞﾋﾞｰﾙ管 φ100 (ｶﾞｰ-) 掘み金物:SUS製 既製品 φ1200															不燃せっこうｶﾞｰﾄﾞ + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ (不燃)		NM-3991、3992			
外 壁		窯業系ｷﾞｰｲﾝｸﾞ t=16 横張(通気工法)																				
軒 裏		ｸﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=8 NAD																				
巾 木		化粧合板型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 誘発目地φ1,200 撥水剤塗布																				
ｷﾞﾗﾝﾄﾞ		耐火野地板t=12 屋根:FRP防水 軒裏:7A3ﾊﾞﾝﾄﾞﾙ																				
底		7A3製 既製品 D=600 W=2,300																				
																					※ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ等は防災物品とする。	
■内部仕上表																						
階	室 名	床			巾 木		壁			天 井					室名札	備 考						
		FL	下 地	仕 上	仕上 高さ	下 地	仕 上	柱 型	下 地	仕 上	梁 型	廻 縁	天井高									
管理棟																						
1 階	玄関	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + 防凍ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	SUS製玄関ﾏｯﾄ ｼｵﾝｼｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ 1,500×900							
	階段下倉庫	FL-20	—	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+塗床仕上げ	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 NAD	—	—	階段裏表し SOP	—	—	直天	○	—							
	ﾋﾞｰﾙ 休憩ｺｰﾅｰ	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○ (休憩ｺｰﾅｰ)	案内版 (ﾋﾞｰﾙ) W1100×H1100、ﾏｯﾄ ｷｯﾄ掲示板 (ﾋﾞｰﾙ) W1800×H900 7A3製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶﾞｰｯｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ (休憩ｺｰﾅｰ)							
	廊下 通用口	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ 一部:GB-R t=12.5×2 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	消火器、消火器ｷﾞｯｽ							
	事務室	FL±0	RC	OA707- H=50 + ｸﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=6.5 (帯電防止)	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	受付ｷｯｯｸｰ、7A3製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶﾞｰｯｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ｷｰｶﾞｰｯｽ:ｽﾌﾟｰﾙ製 W:317・D:124・H:310 ｼｵﾝｼｯﾌﾟ							
	湯沸ｺｰﾅｰ	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	GB-S t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	ﾐﾆｷｯｯｸ L=1,200 厚ﾀｲﾌﾟ、7A3製ｷｰﾅｰﾙ							
	医務室	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (抗菌ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ (不燃) GB-S t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ (不燃)	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ (不燃)	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ (不燃)	—	塩ビ製	2.700	○	ﾐﾆｷｯｯｸ L=900 扉ﾀｲﾌﾟ、製氷機(設備工事) 7A3製ｷｰﾅｰﾙ							
	男子更衣室 女子更衣室	FL+100 (踏込:FL±0)	RC	FF H=100 +合板t=12 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ ｼｵｰﾌﾞｰ-ｽ前室:GB-S t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ 一部:GB-R t=12.5×2 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.600	○	ﾀｲﾝｸﾞ 天端:ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=20、ｼｵｰﾌﾞｰ-ｽ前室等壁:GB-S t=12.5 7A3製ｷｰﾅｰﾙ、SUS製上櫃H=100、ｼｵｰﾌﾞｰ-ｽ前室等壁:GB-S t=12.5 ﾛｯｸｰ (男女更衣室とも) 六人用:SLBD-6-S2×6ヶｻﾞｯ							
	障がい者用更衣室	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=300	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	—							
	男子便所	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (防汚ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ﾉｼﾝ化化粧板 t=3.0 一部:GB-S t=12.5×2+ ﾉｼﾝ化化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	GB-S t=12.5 + ﾉｼﾝ化化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	ﾄｲﾚﾌｰｽ:高圧ﾉｼﾝ化化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=40 ﾀｲﾝｸﾞ 天端:ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=20 汚重ﾀｲﾙ:TOTOnｲﾄﾞ ｵﾜｸﾗ7							
	女子便所	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (防汚ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ﾉｼﾝ化化粧板 t=3.0 一部:GB-S t=12.5×2+ ﾉｼﾝ化化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	ﾄｲﾚﾌｰｽ:高圧ﾉｼﾝ化化粧板ﾌﾗｯｼｭ t=40 ﾀｲﾝｸﾞ 天端:ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=20							
	多目的便所	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (防汚ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + ﾉｼﾝ化化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	GB-S t=12.5 + ﾉｼﾝ化化粧板 t=3.0 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	ﾀｲﾝｸﾞ 天端:ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=20							
	倉庫	FL-20	—	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+塗床	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 NAD	GB-R t=12.5 NAD	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.720	○	—							
2 階	廊下	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	—							
	会議室 (1) 会議室 (2) 会議室 (3)	FL±0	RC	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=17 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞｰﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	LGS	GB-R t=9.5 + DR t=12	—	塩ビ製	2.700	○	7A3製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶﾞｰｯｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、会議室 (1):出窓化粧板:ﾉｼﾝ化化粧板 t=30 会議室 (2):移動間仕切 遮音ﾀｲﾌﾟ (表面化粧鋼板仕上) 会議室 (3):ﾐﾆｷｯｯｸ L=900 扉ﾀｲﾌﾟ							
	共通	階段	—	S	ｶﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ t=37 + ﾋﾞｰﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ｷﾞﾗﾝﾄﾞ鉄部 SOP	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞｰﾙﾄﾞｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	—	—	SUS製ﾌﾗｯｼｵﾝ W=40 ｺﾞﾑ入り 樹脂製手摺 φ34、階数表示 点字ﾀｲﾙ 300×300						
															※内装仕上材は全てF☆☆☆☆以上とする。 ※石綿含有建材は使用しない。							
表示 略号	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	OS	オイルステイン塗り	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GB-R	せっこうボード	RW	ロックウール	SLF	均しモルタル (セルフベリング工法)										
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	OSV	オイルステインワニス塗り	ECP	押出成形セメント板	GB-F	強化せっこうボード	GW	グラスウール吸音材	FF	乾式遮音二重床ﾌﾗｯｸ+ﾊﾞｰﾅｲﾙ'-'ﾄﾞ t=20										
	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り	B-AE	アクリル樹脂系統付塗装	RC	鉄筋コンクリート	GB-S	シージングせっこうボード	FB	フラットバー	SP	スチールパーティション										
	OP	油性調合ペイント塗り	DP	耐候性塗料塗り	S	鉄骨	GB-D	化粧せっこうボード	HL	ヘアライン仕上げ	TB	トイレブース (メラミンフラッシュ)										
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	WP	木製保護塗料塗り	LC	軽量コンクリート	GB-NC	不燃積層せっこうボード	VU	硬質塩化ビニル管 (薄肉管)	CR	カーテンレール										
	FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗り	LE	ラッカーエナメル塗り	GB	コンクリートブロック	GB-P	吸音用あなきせっこうボード	VP	硬質塩化ビニル管 (一般管)	AB	アルミ製暗幕ボックス										
	VE	塩化ビニル樹脂エナメルペイント塗り	NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り	LGS	軽量鉄骨	GB-L	せっこうラスボード	SGP	配管用炭素鋼鋼管 (白ｽﾞｽ管)	BB	アルミ製ブラインドボックス										
	UE	ポリウレタン樹脂ペイント塗り			PC	プレキャストコンクリート	DR	ロックウール化粧吸音板	RD	ルーフトレイン												
	AE	アクリル樹脂エナメルペイント塗り			SUS	ステンレス鋼 (304) 特記無き限り	ｸﾞﾗｽﾞﾙﾄﾞ	繊維混入けい酸カルシウム板	DP	堅樋												
	QL	クアラッカー塗り			ST	スチール	FPB	フォームポリスチレンボード														
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り			AL	アルミニウム	RW-B	ロックウール吸音ボード														
							GW-B	グラスウールボード														
	MEMO							株式会社 ジェイエー津安芸			作製年月日		御承認		作 図		工事名称 令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事		図番			
							三重県津市一色町 211			訂正年月日						図面名称 管理棟 仕上表 (完成)		A-01				
							TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001									縮尺						



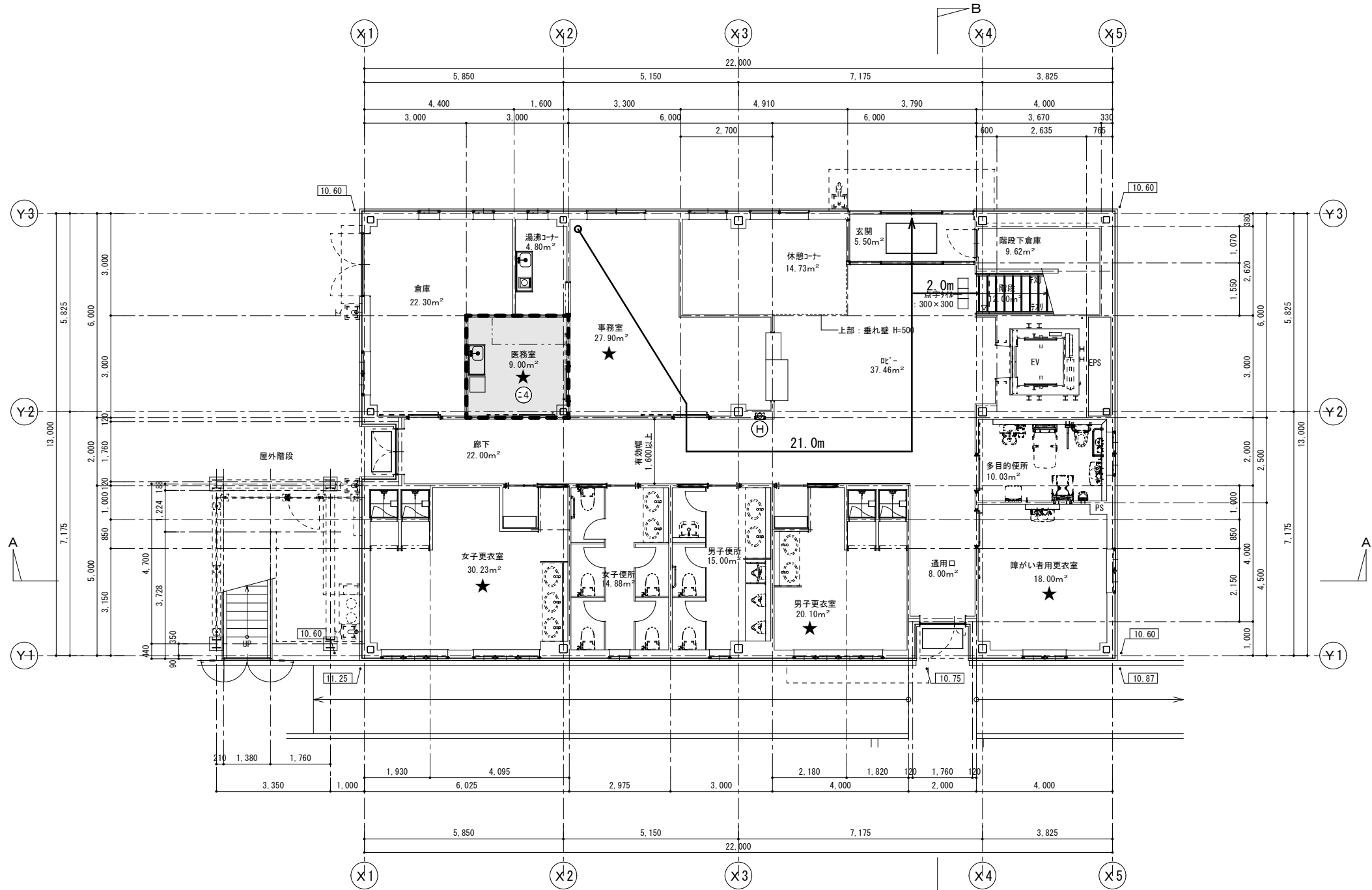




2階平面図 S=1/100

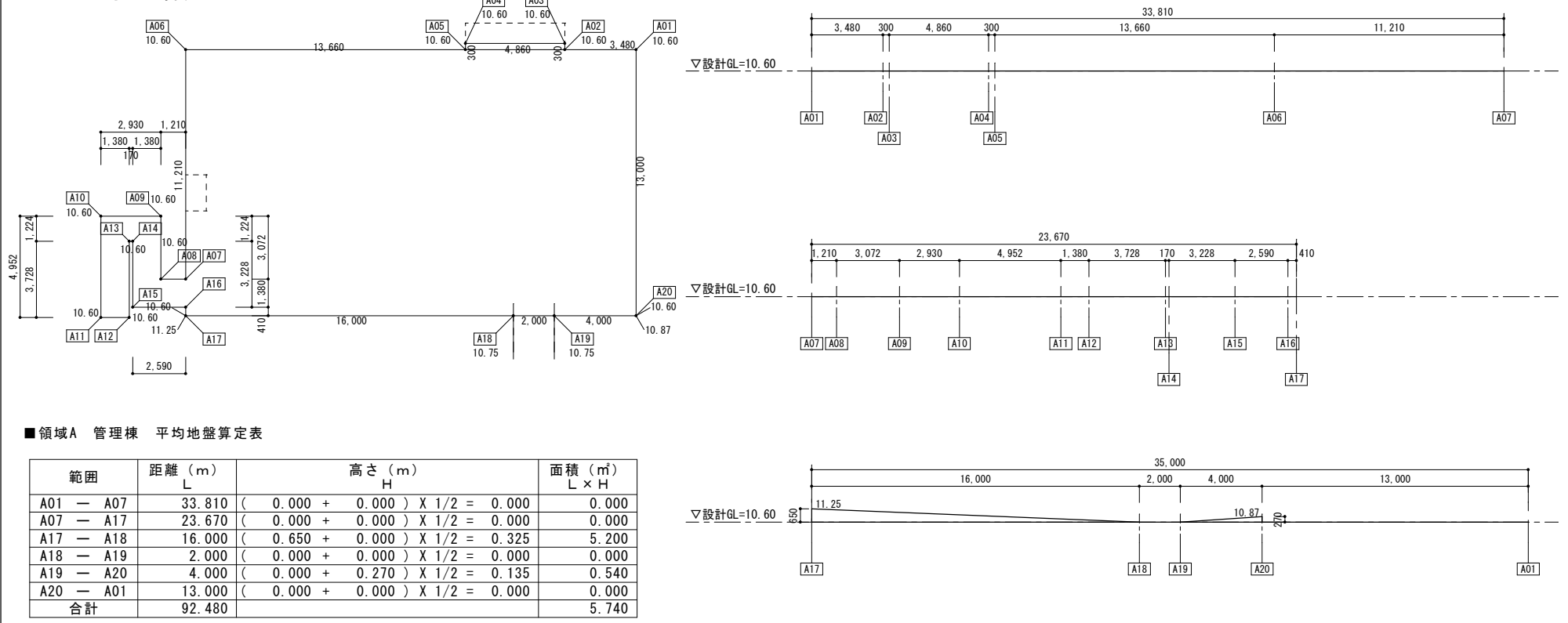


屋根伏図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

■平均地盤算定図



■領域A 管理棟 平均地盤算定表

範囲	距離 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)
A01 - A07	33.810	( 0.000 + 0.000 ) X 1/2 = 0.000	0.000
A07 - A17	23.670	( 0.000 + 0.000 ) X 1/2 = 0.000	0.000
A17 - A18	16.000	( 0.650 + 0.000 ) X 1/2 = 0.325	5.200
A18 - A19	2.000	( 0.000 + 0.000 ) X 1/2 = 0.000	0.000
A19 - A20	4.000	( 0.000 + 0.270 ) X 1/2 = 0.135	0.540
A20 - A01	13.000	( 0.000 + 0.000 ) X 1/2 = 0.000	0.000
合計	92.480		5.740

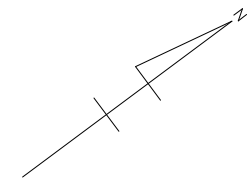
5.740 / 92.480 = 0.06207  
よって、領域A 管理棟の平均地盤面は 設計GL (10.60) + 0.060 (m)

■凡例

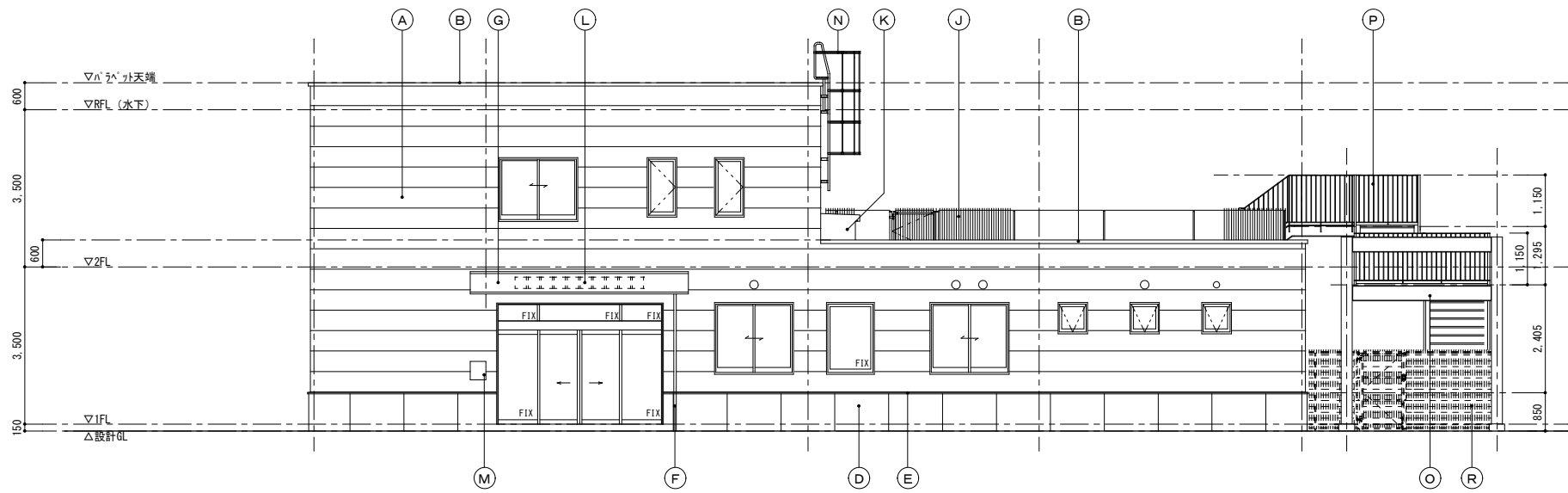
- ★ : 室内空気汚染物質測定箇所
- \*\*\*\* : 計面地盤高さを示す

凡例	
避難距離	
避難経路	H 1 2 国交省告示第 1 4 3 6 号第 4 号ニ ( 4 ) 適用
法35条-3の区画 (土間～ｽﾏｯﾌﾟ間)	
消火器 (ABC10型) を示す	
※ 1,2階とも火気使用室なし	
※ 避難経路に係る器具は空錠もしくは内側ｶﾞﾀﾝとする。	

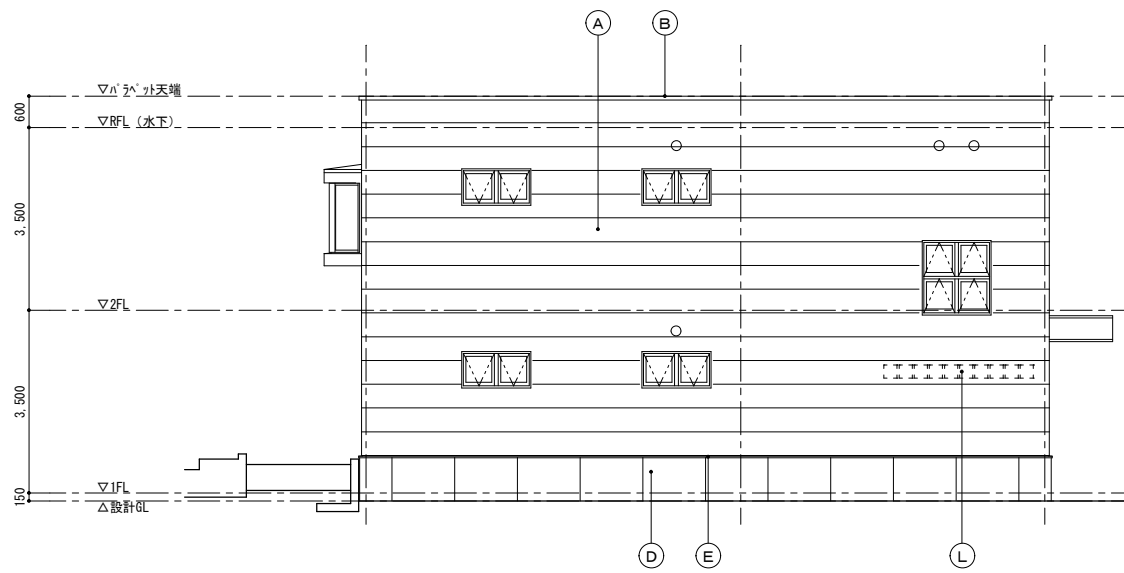
階段	
有効幅	1,150mm ≧ 750mm
踊場巾	1,170mm ≧ 750mm
蹴上げ	195mm ≦ 220mm
踏面	250mm ≧ 210mm
段数	18段
手摺	両側



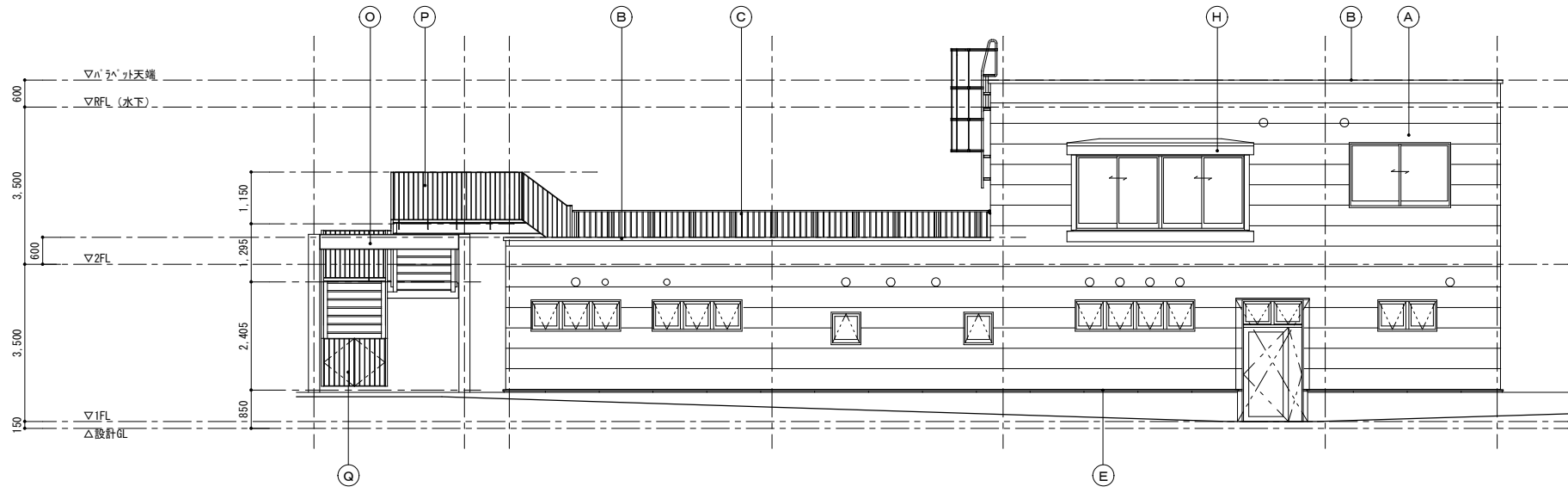




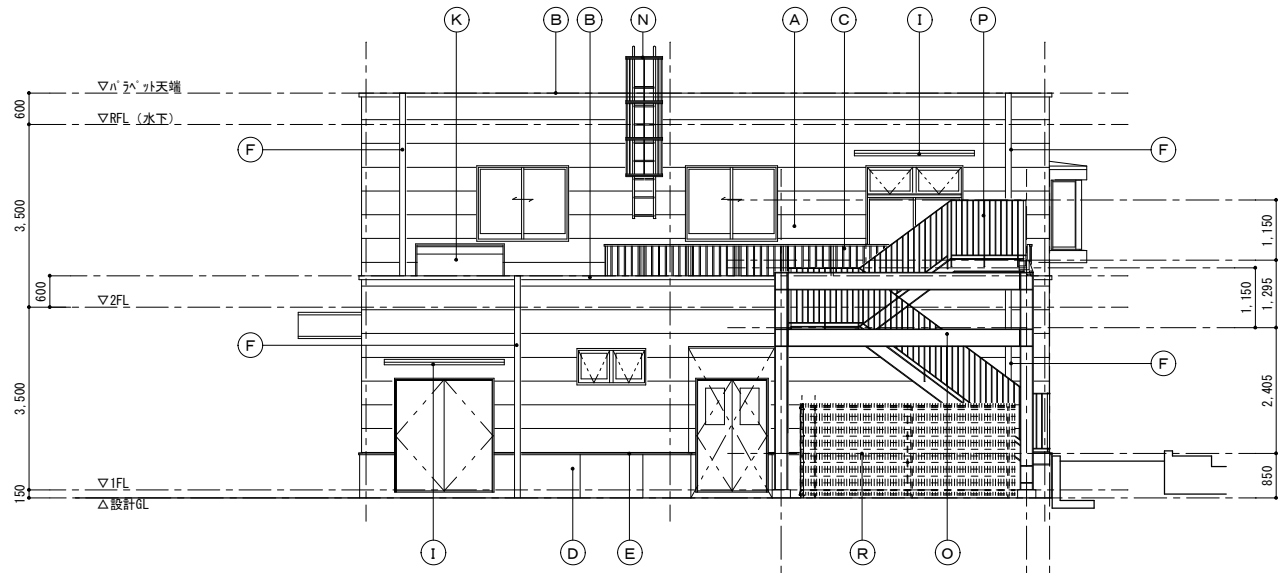
西 立面图 S=1/100



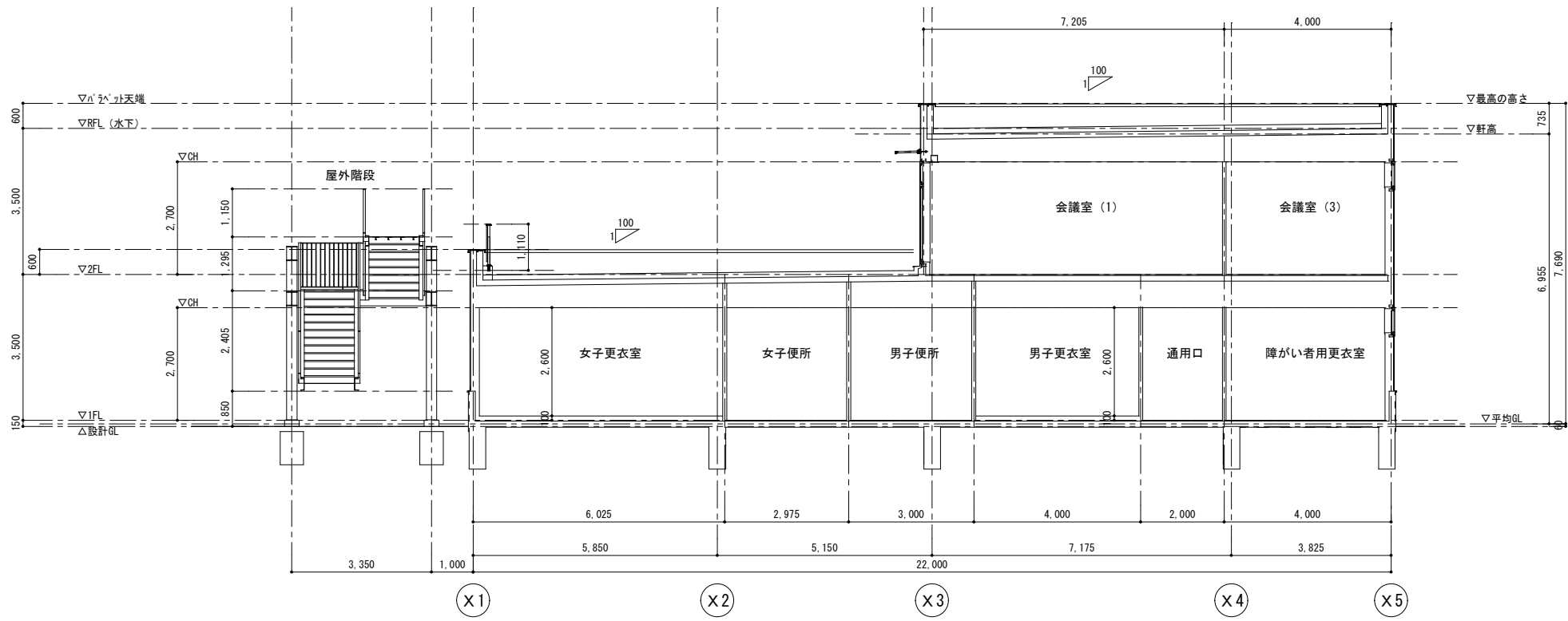
北 立面图 S=1/100



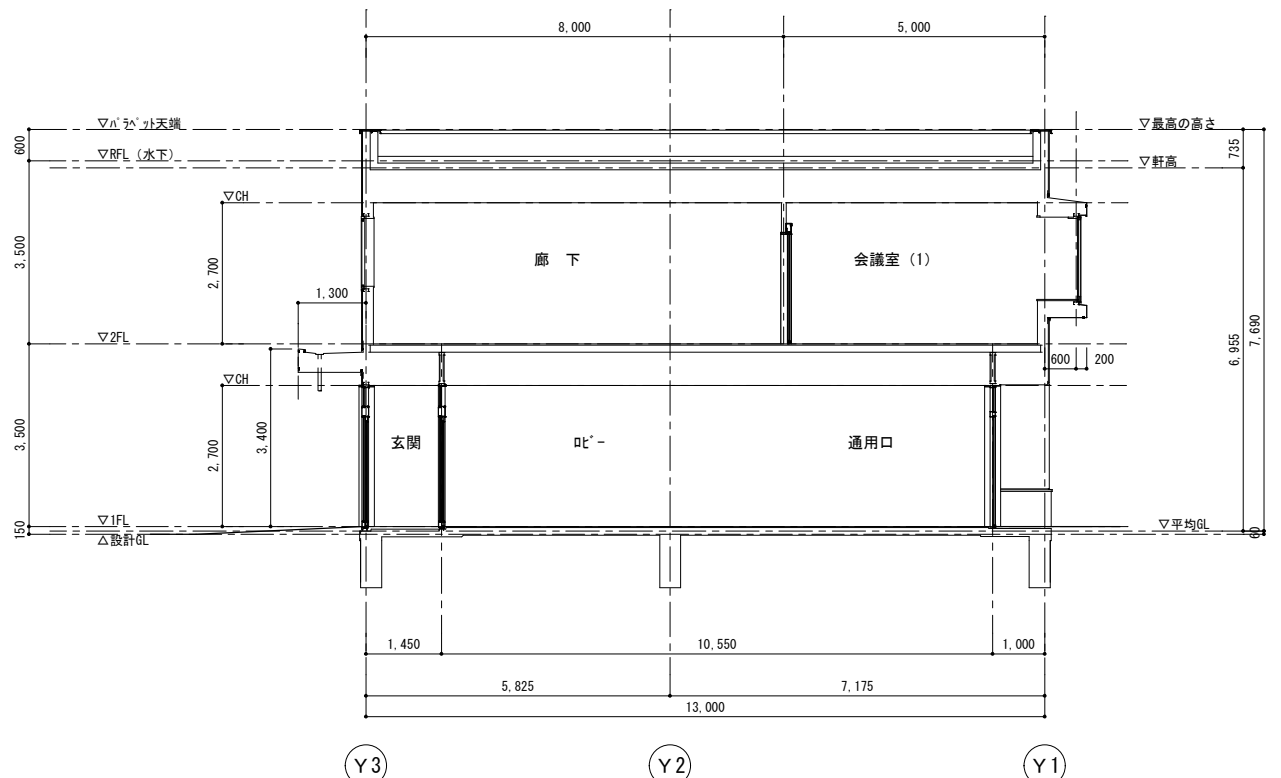
東 立面图 S=1/100



南 立面图 S=1/100



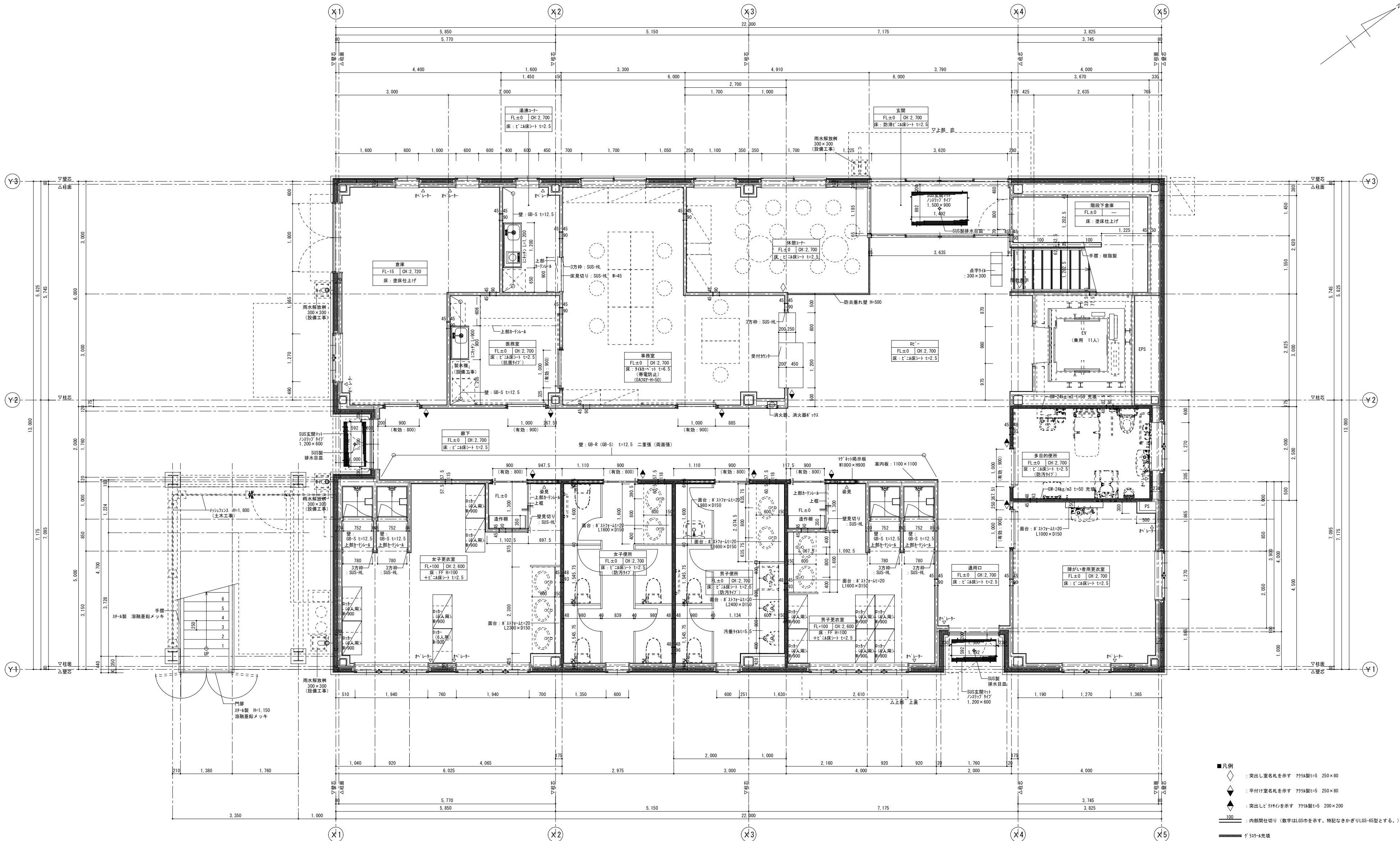
A 断面图 S=1/100



B 断面图 S=1/100

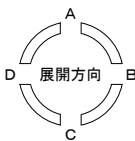
凡 例	(A)	外壁：窯業系付'インダ' t=16 横張（通気工法）	(J)	フナシ：フナシ2121 H1,000 独立基礎 一部片開き門扉
	(B)	窓木：7A1製押出材 W=400	(K)	ハト小屋：化粧合板型枠コンクリート打放し 塗膜防水
	(C)	手摺：7A1製（縦格子47） H=1010	(L)	館銘板：SUS-HL 切り文字250×250
	(D)	巾木：化粧合板型枠コンクリート打放し 撥水剤塗布	(M)	郵便受け：大型J-44'7A
	(E)	水切り：8'40'9A鋼板 t=0.35加工	(N)	SUS917P' 安全'→'付き
	(F)	壁組：縦貫'9'塩化ビ'24管 Φ100 SUS鋼み垂物共	(O)	屋外階段：鉄骨表し 溶融亜鉛メッキ
	(G)	底：亜鉛鋼板t=1.6 フッ素焼付塗装仕上げ	(P)	手摺：2F-4製 H=1,150 溶融亜鉛メッキ
	(H)	出窓：亜鉛鋼板t=1.6 フッ素焼付塗装仕上げ	(Q)	門扉：2F-4製 H=1,150 両開き門扉
	(I)	底：7A1製 既製品 D=600 W=2,300	(R)	フナシ2121 H1,800 （土木工事）

MEMO	株式 会社 ジェイエイ津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		作製年月日 訂正年月日	御承認	作 図	工事名称 令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事	図番 A-05
						図面名称 管理棟 立面図、断面図	
						縮尺 1/100 (A1)	

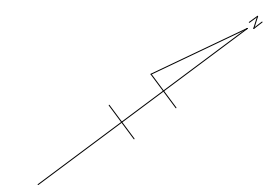


1階平面詳細図 S=1/50

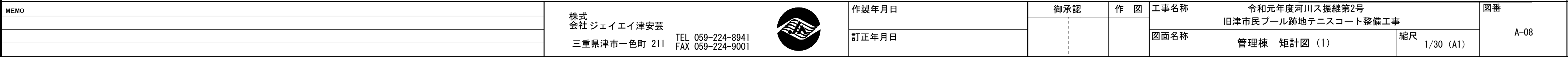
- 凡例
- ◊ : 突出し窓名札を示す 771A型t=5 250×80
- ◆ : 平付け窓名札を示す 771A型t=5 250×80
- ▲ : 突出しバルコニーを示す 771B型t=5 200×200
- 100 : 内部間仕切り (数字は1.05mを示す。特記なきかぎりL65-65型とする。)
- : 330×66型
- 外壁 : 08-24kg/m<sup>2</sup> t=100
- 内部間仕切り : 08-24kg/m<sup>2</sup> t=50



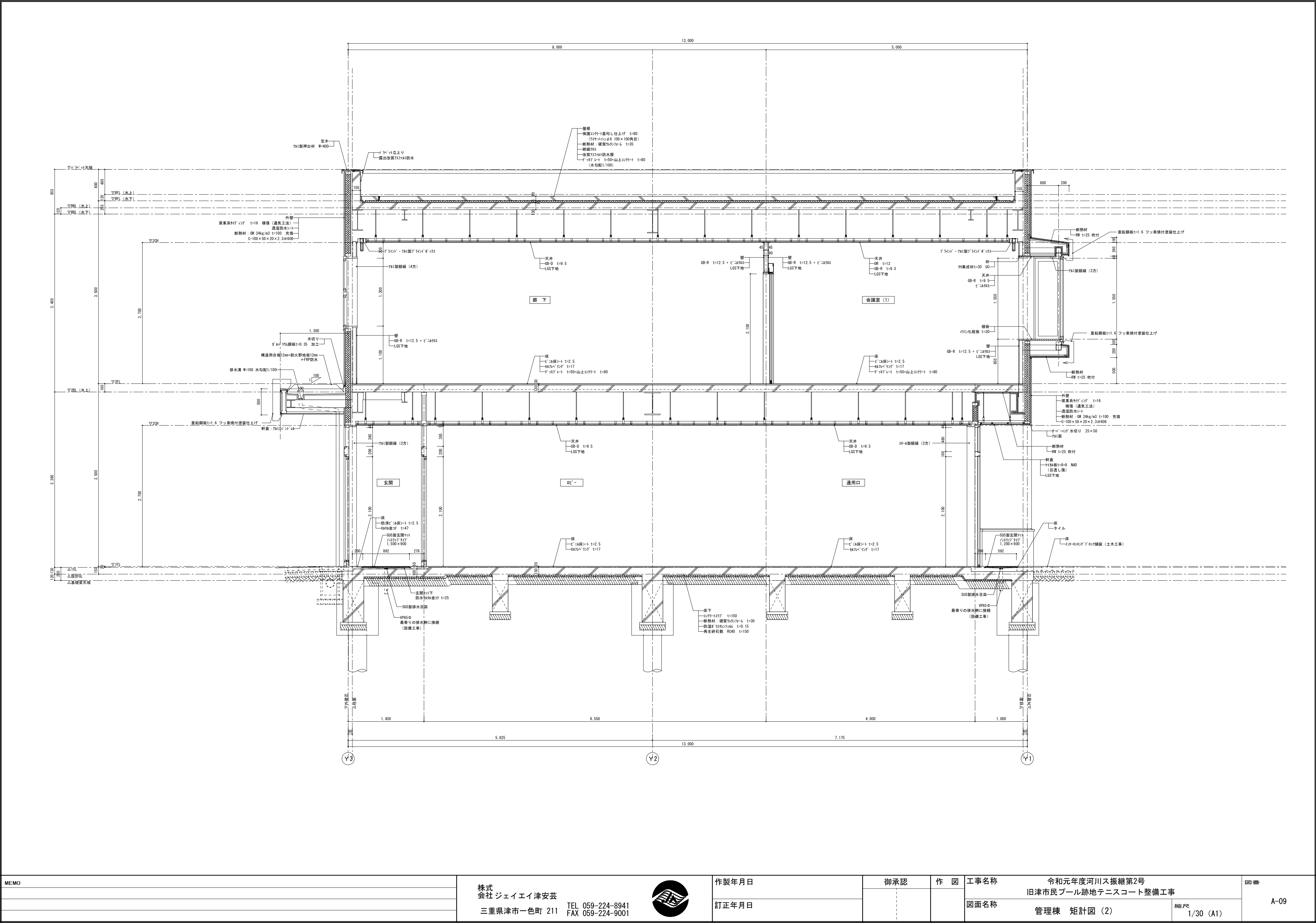
MEMO	株式会社 ジェイエー津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001	製作年月日 訂正年月日	御承認	作 図	工事名称	図番
					令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事 管理棟 1階平面詳細図 縮尺 1/50 (A1)	




MEMO	株式会社 ジェイエイ津安芸  TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001 三重県津市一色町 211		作製年月日	御承認	作 図	令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事		図番  A-07
			訂正年月日			図面名称	縮尺	
						管理棟 2階平面詳細図	1/50 (A1)	

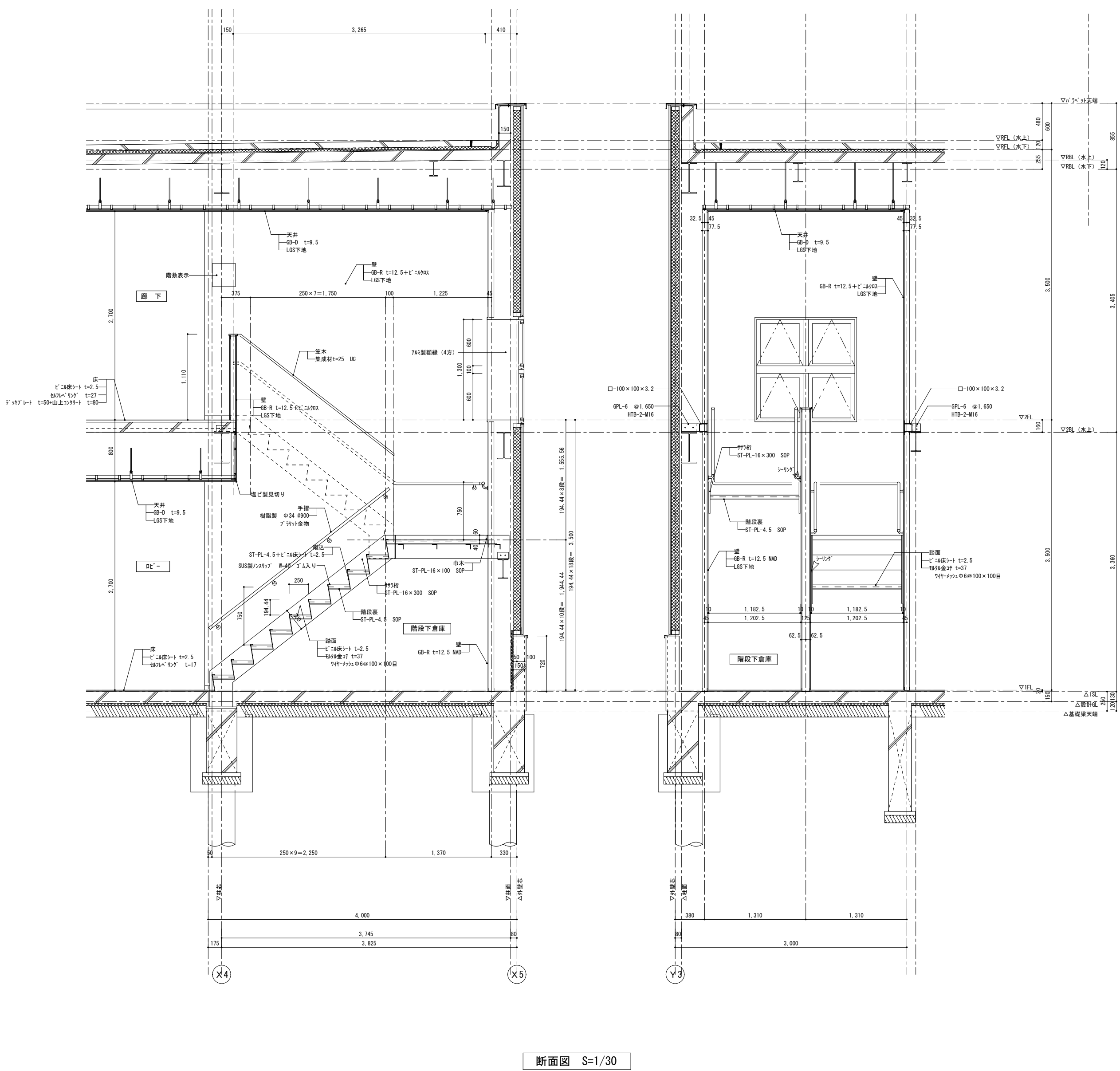
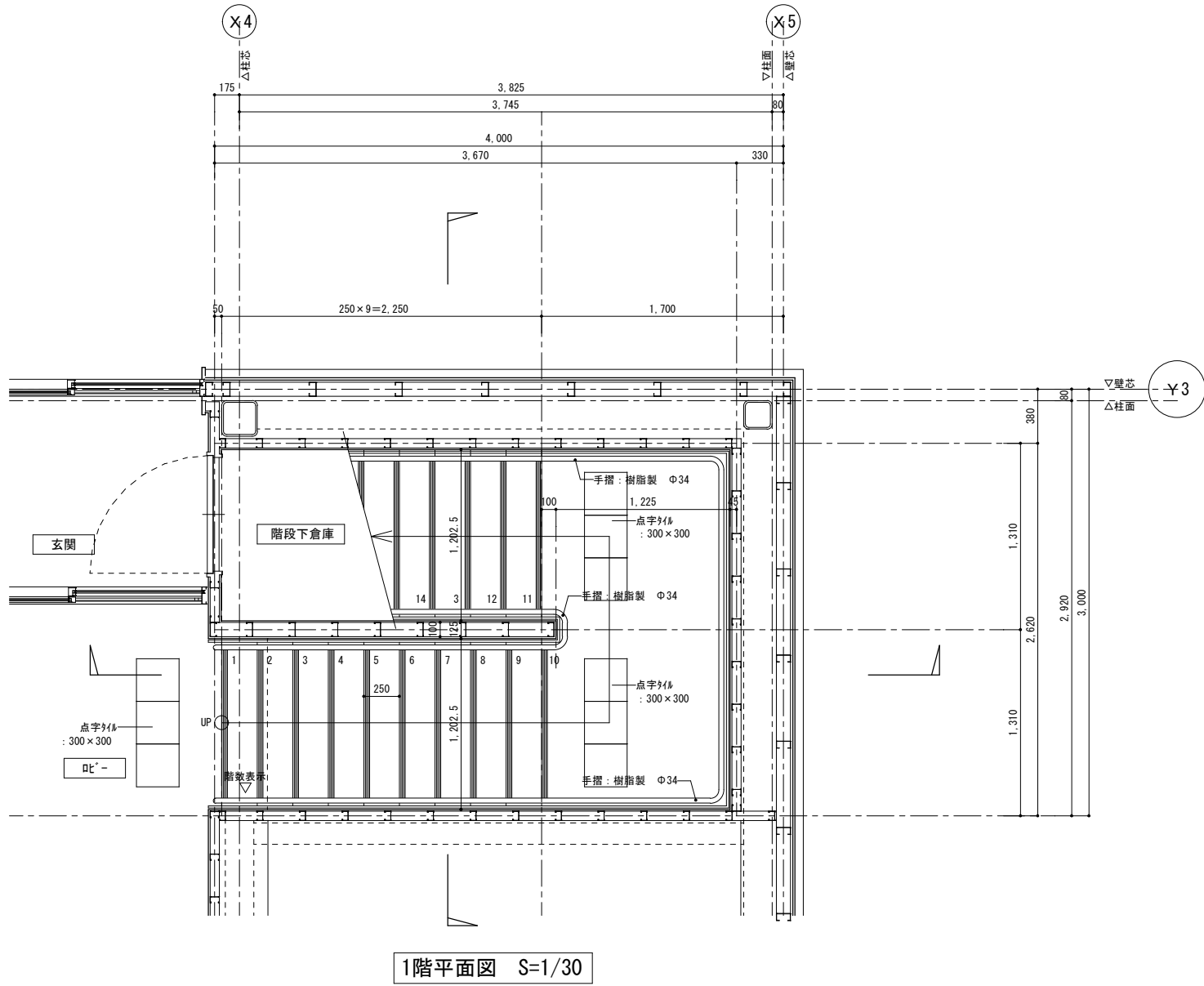
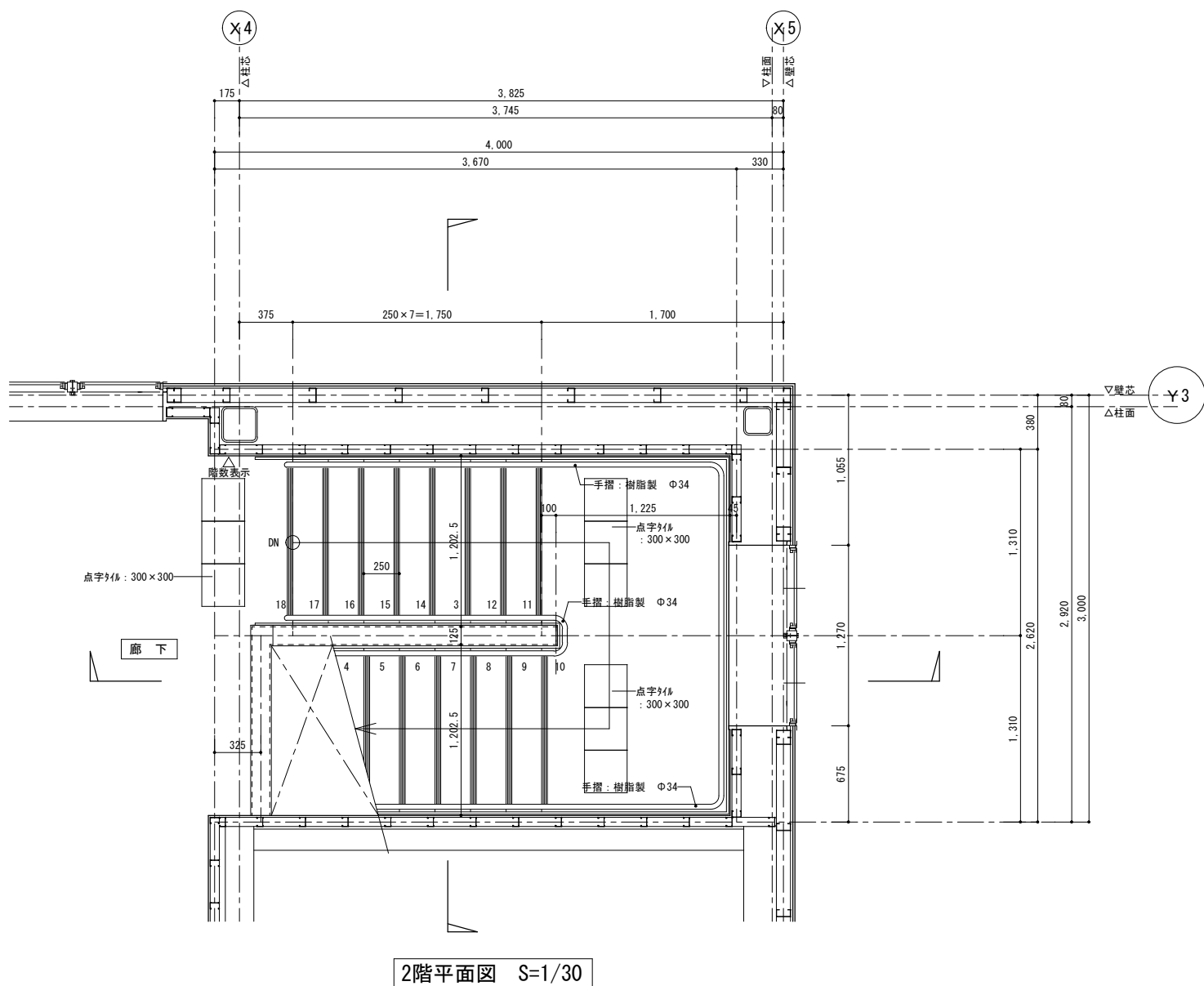




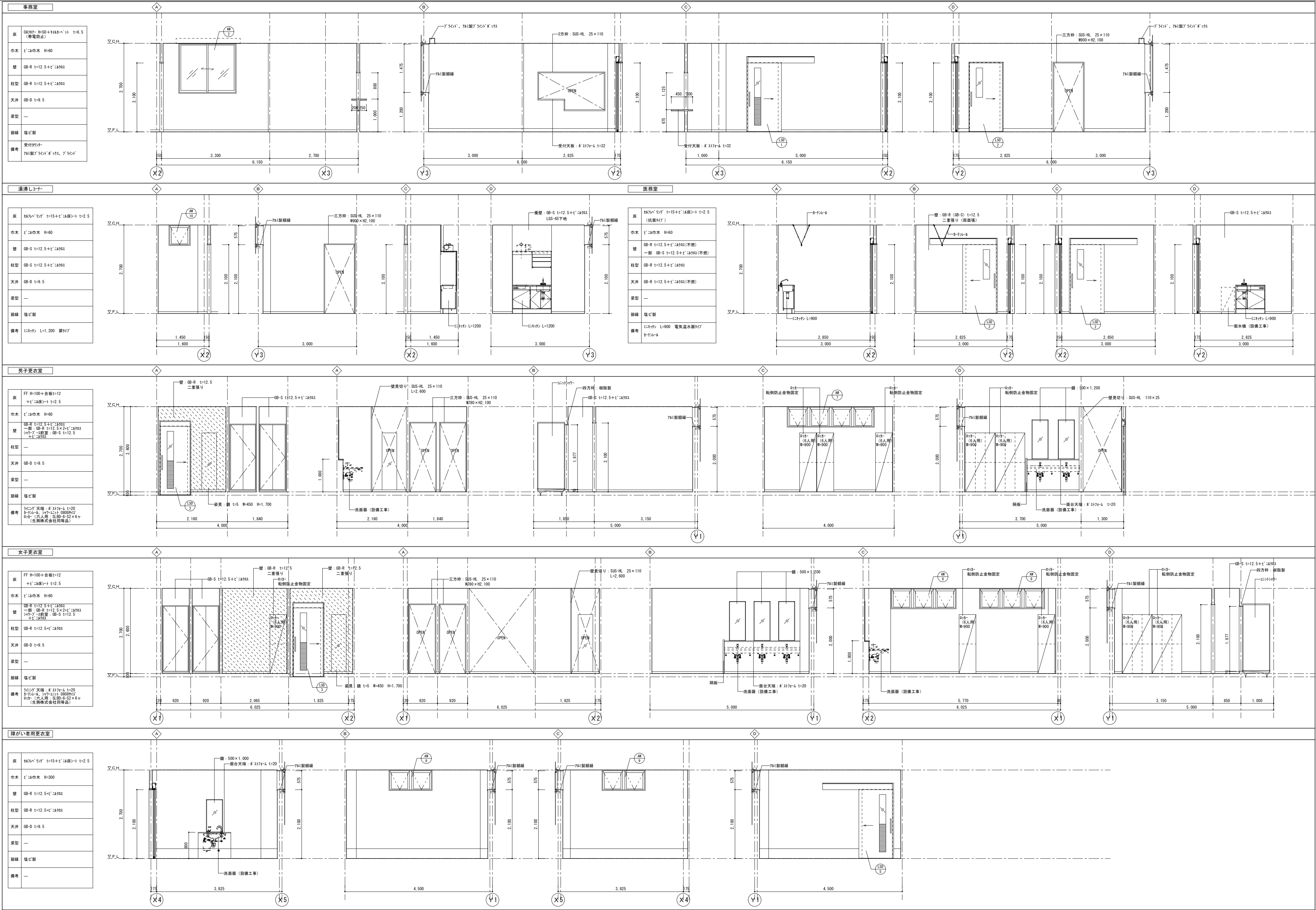


MEMO	株式会社 ジェイエー津安 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		作製年月日 訂正年月日	御承認	作 図	工事名称	令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事	図番 A-09
						図面名称		
						管理棟 矩計図 (2)		

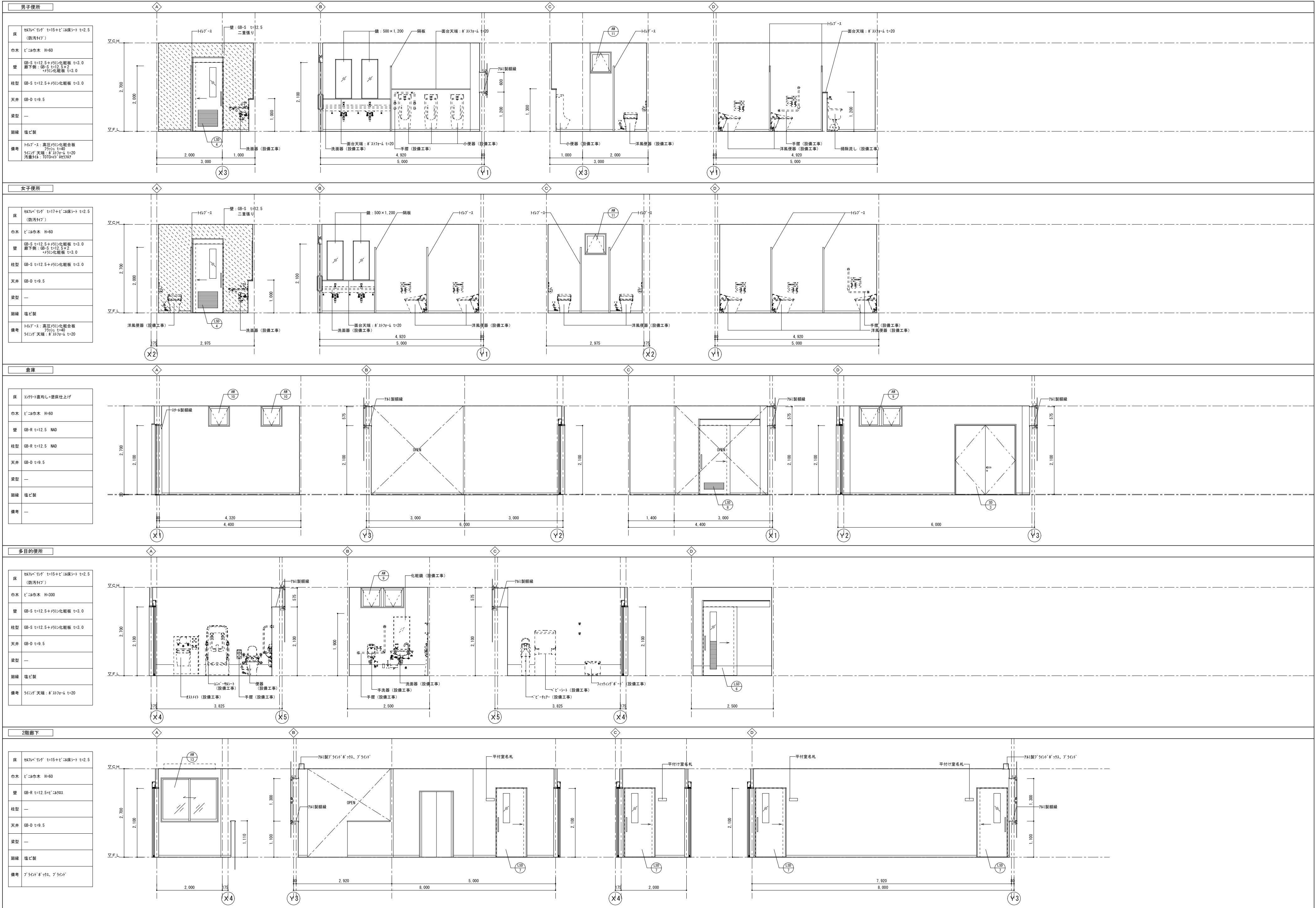
縮尺  
1/30 (A1)



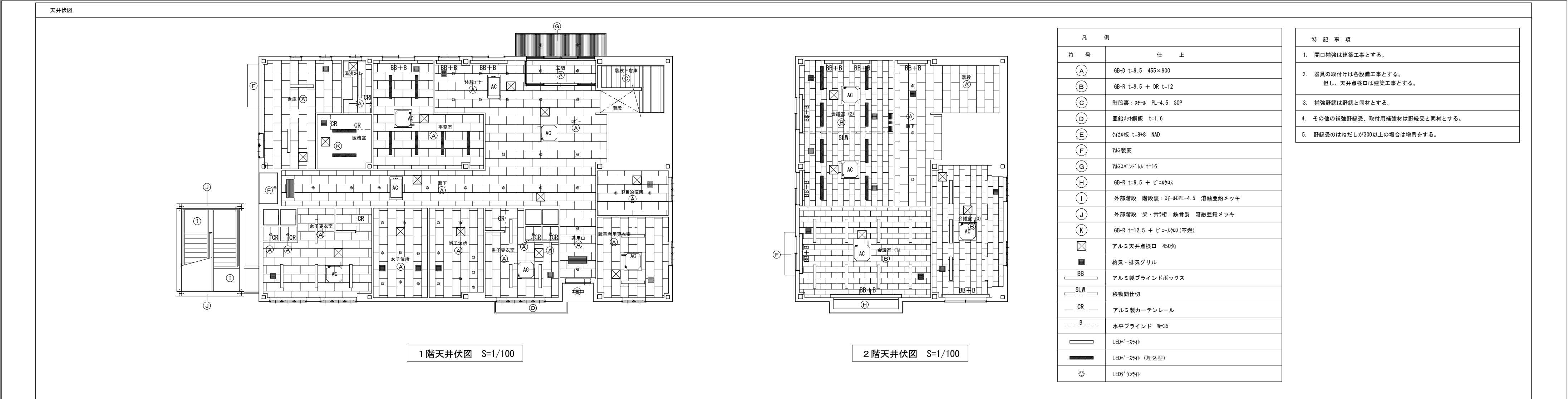






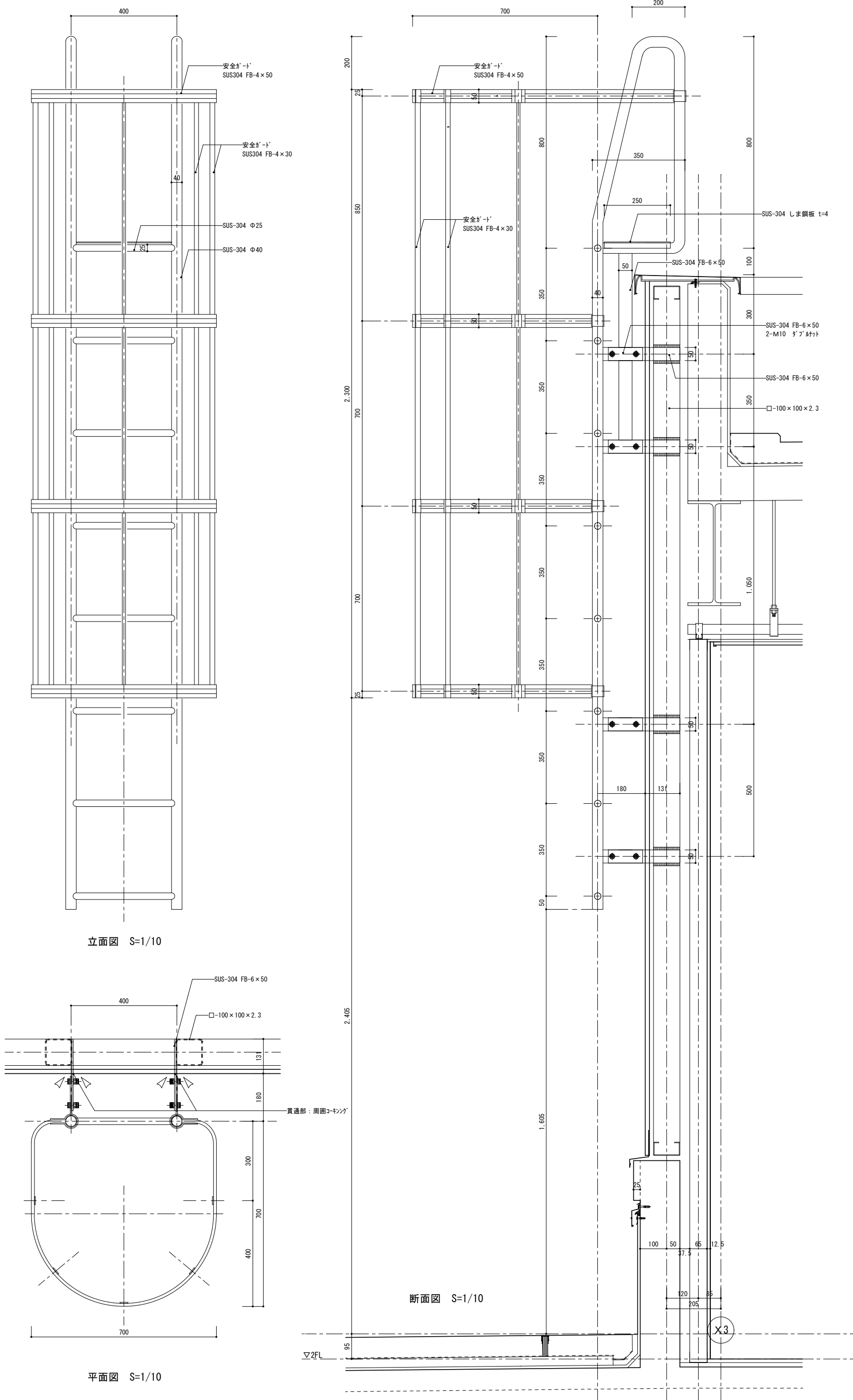
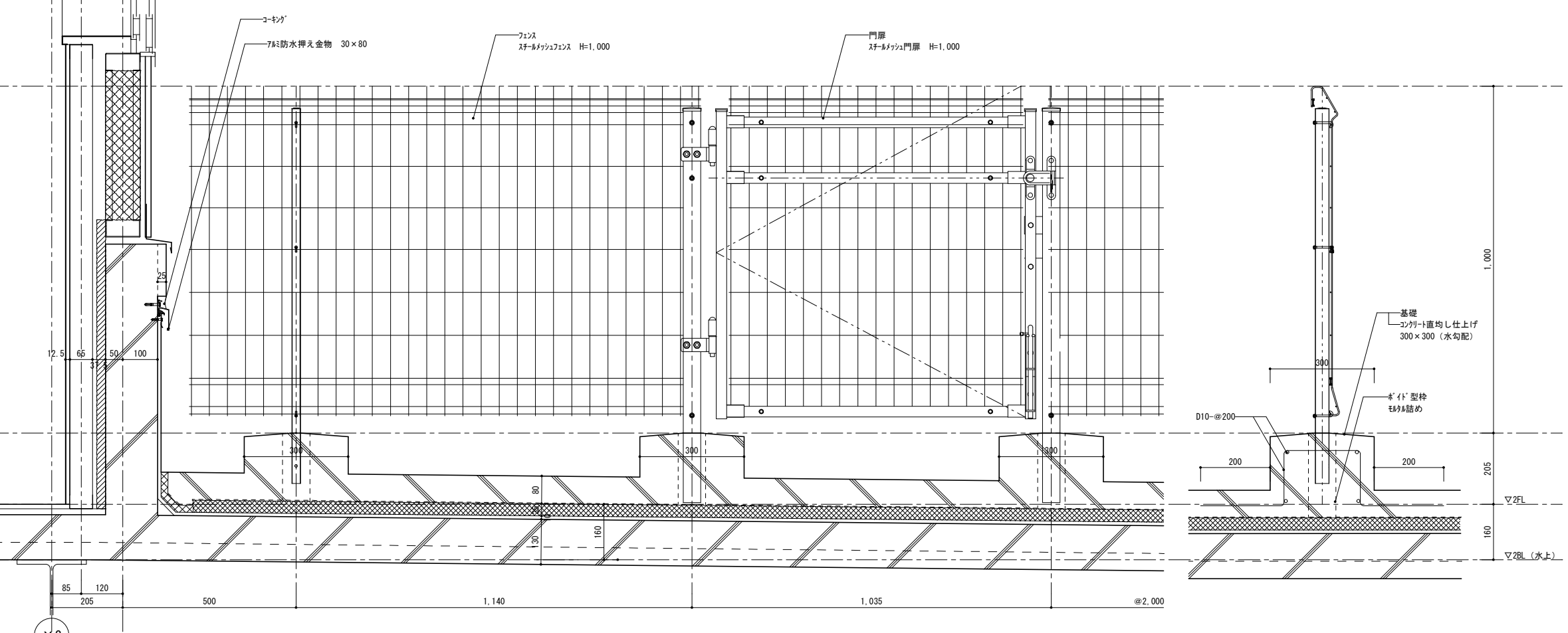
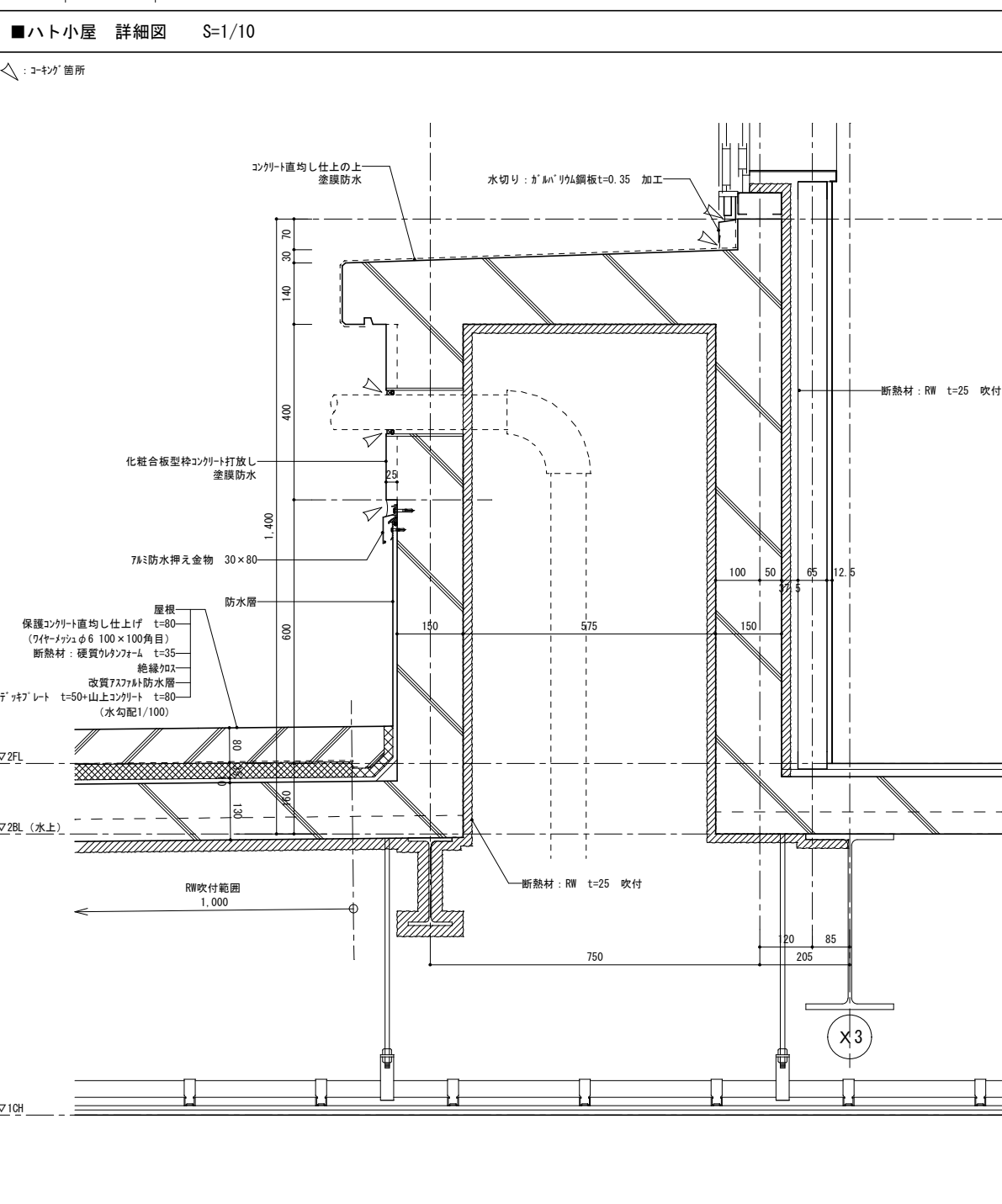
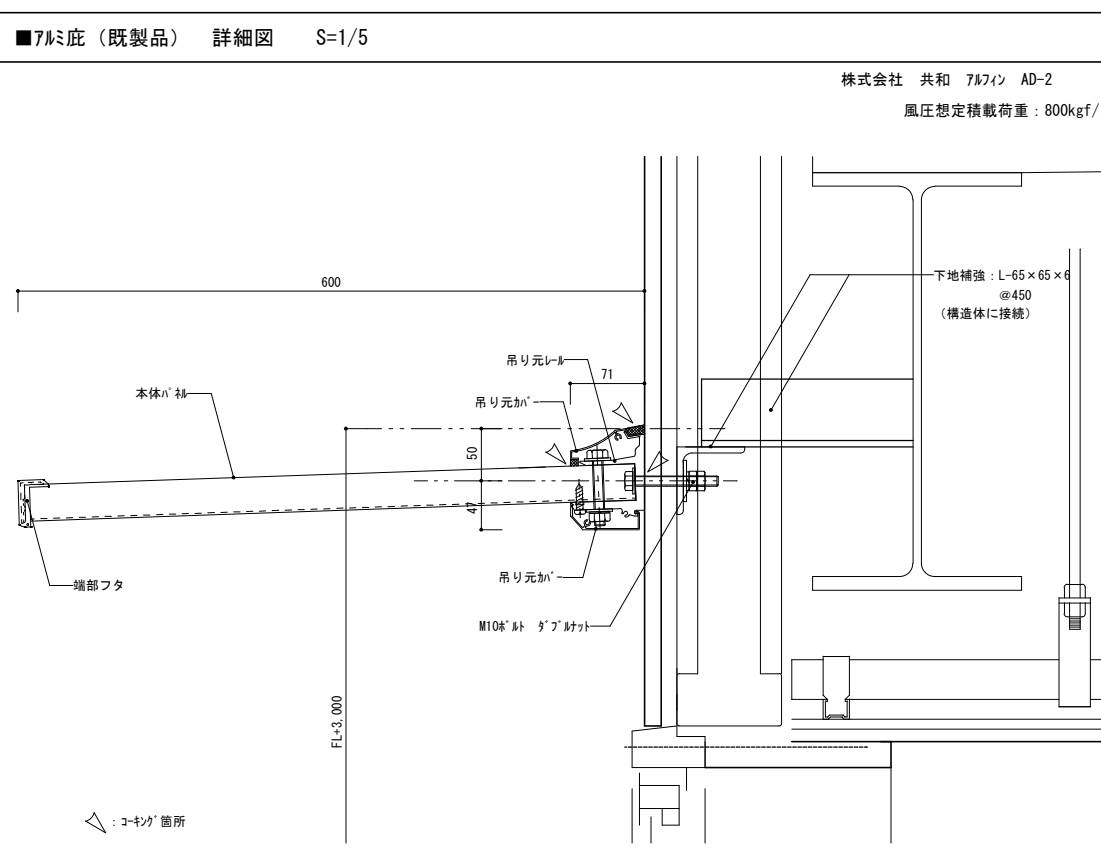
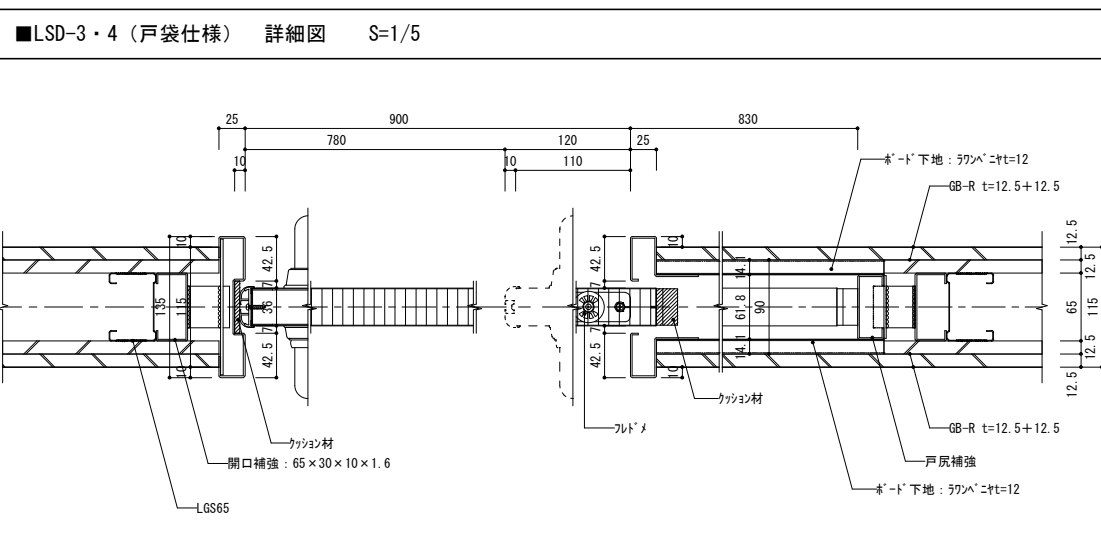
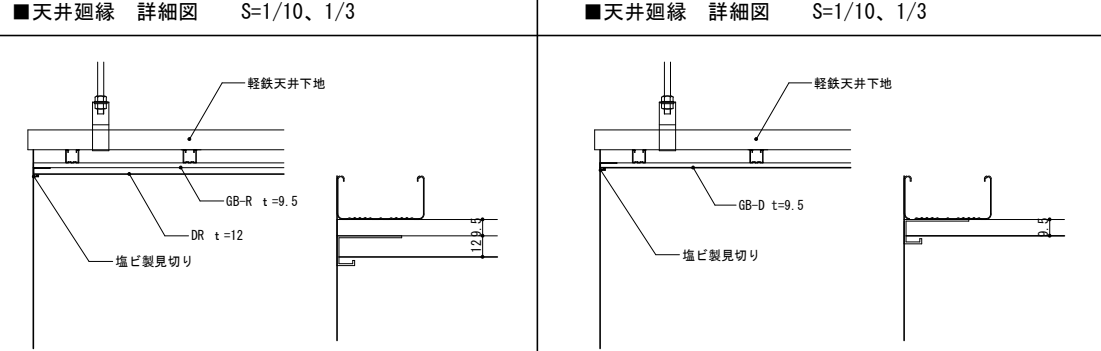
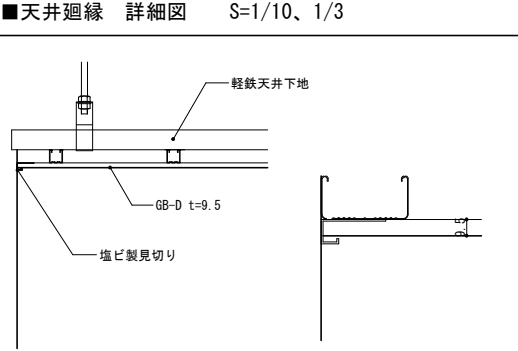
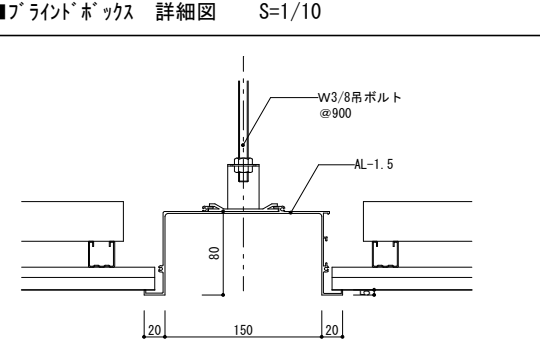


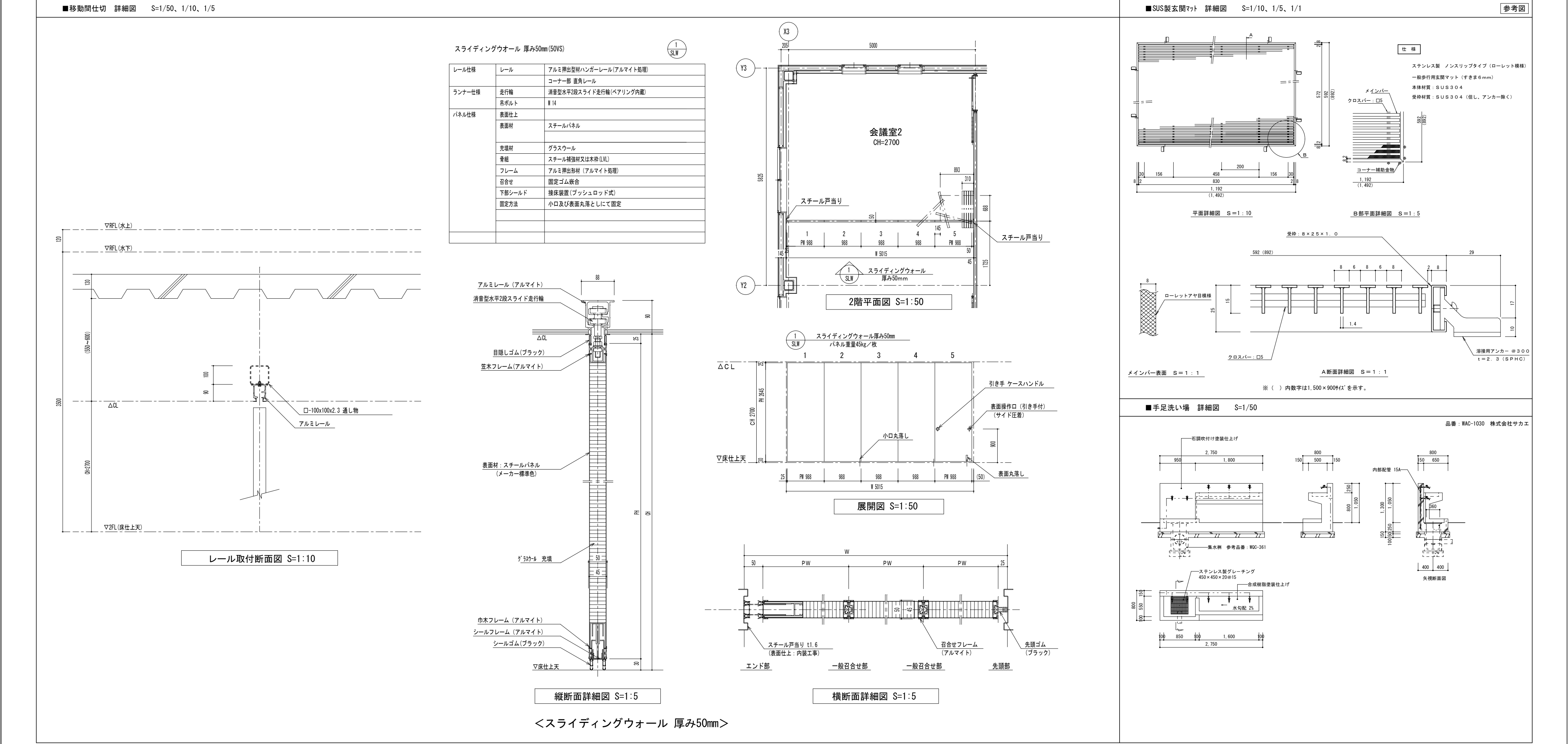
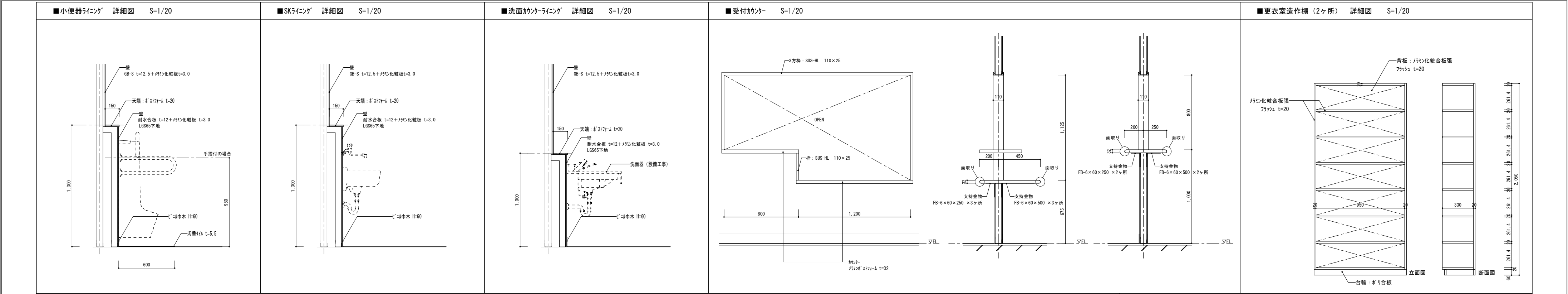




建具受面 (内装面を参照) 縮尺=1/150	FL V	12-1 片引き心材-戸	12-2 片引き心材-戸	12-3 片引き心材-戸	12-4 片引き心材-戸	12-5 片引き心材-戸	12-6 片引き心材-戸	12-7 片引き心材-戸	12-8 片引き心材-戸
		位置・数量 事務室	位置・数量 事務室	位置・数量 男子更衣室、女子更衣室	位置・数量 男子便所、女子便所	位置・数量 障がい者用更衣室	位置・数量 多目的便所	位置・数量 会議室 (1)、会議室 (2)、会議室 (3)	位置・数量 1階倉庫
		見 込 種 : 120 扉 : 40	見 込 種 : 120 扉 : 40	見 込 種 : 135 扉 : 40	見 込 種 : 135 扉 : 40	見 込 種 : 120 扉 : 40	見 込 種 : 120 扉 : 40	見 込 種 : 120 扉 : 40	見 込 種 : 120 扉 : 40
		硝 子 型板強化 t=4 ｶﾞﾗｽ (開口率30%)	硝 子 型板強化 t=4	硝 子 型板強化 t=4 ｶﾞﾗｽ (開口率30%)	硝 子 型板強化 t=4 ｶﾞﾗｽ (開口率30%)	硝 子 型板強化 t=4 ｶﾞﾗｽ (開口率30%)	硝 子 型板強化 t=4 ｶﾞﾗｽ (開口率30%)	硝 子 型板強化 t=4	硝 子 ｶﾞﾗｽ
		金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、鍵錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-錠/ｷﾔｰﾝ)、付属金物一式	金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、鍵錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-錠/ｷﾔｰﾝ)、付属金物一式	金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、鍵錠、ｷﾔｰﾝ、付属金物一式	金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、付属金物一式	金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、鍵錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-錠/大型ｷﾔｰﾝ)、付属金物一式	金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、鍵錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-錠/大型ｷﾔｰﾝ)、付属金物一式	金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、鍵錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-錠/ｷﾔｰﾝ)、付属金物一式	金 物 自閉装置付き心材-レール、引き棒、鍵錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-錠/ｷﾔｰﾝ) 付属金物一式
		仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板
		備 考 ｸﾞﾗｽﾞ : SUS	備 考 事務室側 ｸﾞﾗｽﾞ : SUS	備 考 両側戸袋付き	備 考 両側戸袋付き ｸﾞﾗｽﾞ : SUS	備 考 ｸﾞﾗｽﾞ : SUS	備 考 ｸﾞﾗｽﾞ : SUS	備 考 ｸﾞﾗｽﾞ : SUS	備 考 1階倉庫 ｸﾞﾗｽﾞ : SUS
		12-9 片開きﾌﾗｯｼｭ戸	12-10 片引き心材-戸	12-11 引違い窓、排煙内倒し窓		12-12 引違い窓	12-13 引違い窓	12-14 引違い窓、FIX窓	12-15 FIX窓
建具受面 (内装面を参照) 縮尺=1/150	FL V								
		位置・数量 1階 階段下倉庫	位置・数量 会議室 (3)	位置・数量 会議室 (1)	位置・数量 事務室、休憩ｺｰﾅｰ	位置・数量 会議室 (2)、(3)	位置・数量 会議室 (1)	位置・数量 休憩ｺｰﾅｰ	
		見 込 種 : 110 扉 : 40	見 込 種 : 110 扉 : 40	見 込 種 : 70 強化ｶﾞﾗｽ t=5	見 込 種 : 70 強化ｶﾞﾗｽ t=5	見 込 種 : 70 強化ｶﾞﾗｽ t=5	見 込 種 : 70 強化ｶﾞﾗｽ t=5	見 込 種 : 70 強化ｶﾞﾗｽ t=5	
		硝 子 —	硝 子 —	硝 子 強化ｶﾞﾗｽ t=5	硝 子 強化ｶﾞﾗｽ t=5	硝 子 強化ｶﾞﾗｽ t=5	硝 子 強化ｶﾞﾗｽ t=5	硝 子 強化ｶﾞﾗｽ t=5	
		金 物 本締錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-ｷﾔｰﾝ)、ｷﾔｰﾝ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、下巻、ﾄﾞﾗｯﾌﾟ-ｼｰﾄ、付属金物一式	金 物 本締錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-ｷﾔｰﾝ)、ｷﾔｰﾝ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、引き棒、鍵錠 (ｼﾘﾝﾄﾞ-錠/ｷﾔｰﾝ) 付属金物一式	金 物 ｶﾜﾈﾄ、ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、鍵錠ｽﾍﾞｰﾙ補強、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｶﾜﾈﾄ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｶﾜﾈﾄ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｶﾜﾈﾄ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	
		仕 上 化粧鋼板	仕 上 化粧鋼板	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	
		備 考 ｸﾞﾗｽﾞ : SUS	備 考 —	備 考 網戸、水切り	備 考 網戸	備 考 網戸	備 考 網戸	備 考 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	
		12-16 突出し窓	12-17 排煙内倒し窓	12-18 排煙内倒し窓	12-19 排煙内倒し窓	12-20 排煙内倒し窓	12-21 横滑り出し窓	12-22 縦滑り出し窓	
		位置・数量 階段	位置・数量 男子更衣室	位置・数量 女子更衣室	位置・数量 身がいり用更衣室、多目的便所、1階倉庫、会議室 (3)	位置・数量 1階倉庫、通湯ｺｰﾅｰ	位置・数量 男子便所、女子便所	位置・数量 会議室 (2)	
		見 込 種 : 70	見 込 種 : 70	見 込 種 : 70	見 込 種 : 70	見 込 種 : 70	見 込 種 : 70	見 込 種 : 70	
		硝 子 強化ｶﾞﾗｽ t=5	硝 子 型板強化 t=4	硝 子 型板強化 t=4	硝 子 型板強化 t=4	硝 子 型板強化 t=4	硝 子 型板強化 t=4	硝 子 強化ｶﾞﾗｽ t=5	
		金 物 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	金 物 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、7ｽﾍﾞﾙ製網線	
		仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	仕 上 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	
		備 考 固定網戸	備 考 固定網戸	備 考 固定網戸	備 考 固定網戸	備 考 固定網戸	備 考 内開き網戸	備 考 7ｽﾍﾞﾙ電解着色	
		12-23 ﾄｲﾚﾄﾞｰﾙ	12-24 ﾄｲﾚﾄﾞｰﾙ	12-25 ﾄｲﾚﾄﾞｰﾙ	12-26 ﾄｲﾚﾄﾞｰﾙ	12-27 隔板	12-28 隔板	12-29 ｽﾍﾞｰﾚｰﾄﾞ-ﾊﾝﾄﾞﾙ	
建具受面 (内装面を参照) 縮尺=1/150	FL V								
		位置・数量 男子便所	位置・数量 女子便所	位置・数量 女子便所	位置・数量 男子便所	位置・数量 男子更衣室、女子更衣室	位置・数量 会議室 (2)		
		見 込 40	見 込 40	見 込 40	見 込 40	見 込 2	見 込 1		
		硝 子 —	硝 子 —	硝 子 —	硝 子 —	硝 子 —	硝 子 —		
		金 物 ｸﾞﾗｽﾞﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ (中心部)、5ﾊﾞﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞｲﾂ、表示付ｶﾞﾗｽ (非常解)、戸当り	金 物 ｸﾞﾗｽﾞﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ (中心部)、5ﾊﾞﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞｲﾂ、表示付ｶﾞﾗｽ (非常解)、戸当り	金 物 ｸﾞﾗｽﾞﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ (中心部)、5ﾊﾞﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞｲﾂ、表示付ｶﾞﾗｽ (非常解)、戸当り	金 物 高圧メラミン樹脂化粧板	金 物 高圧メラミン樹脂化粧板	金 物 ｸﾏｰﾊﾝﾄﾞﾙ、丸落し、ｽﾍﾞｰﾙ戸当り		
		仕 上 高圧メラミン樹脂化粧板	仕 上 高圧メラミン樹脂化粧板	仕 上 高圧メラミン樹脂化粧板	仕 上 高圧メラミン樹脂化粧板	仕 上 高圧メラミン樹脂化粧板	仕 上 化粧鋼板		
		備 考 笠木 : 7ｽﾍﾞﾙ製 (蓋付き)、市木 : SUS304 t=0.8 H=100、取付金物 : 7ｽﾍﾞﾙ製、小口7ｽﾍﾞﾙｼｯｼﾞ	備 考 笠木 : 7ｽﾍﾞﾙ製 (蓋付き)、市木 : SUS304 t=0.8 H=100、取付金物 : 7ｽﾍﾞﾙ製、小口7ｽﾍﾞﾙｼｯｼﾞ	備 考 笠木 : 7ｽﾍﾞﾙ製 (蓋付き)、市木 : SUS304 t=0.8 H=100、取付金物 : 7ｽﾍﾞﾙ製、小口7ｽﾍﾞﾙｼｯｼﾞ	備 考 笠木 : 7ｽﾍﾞﾙ製 (蓋付き)、市木 : SUS304 t=0.8 H=100、取付金物 : 7ｽﾍﾞﾙ製、小口7ｽﾍﾞﾙｼｯｼﾞ	備 考 高圧メラミン樹脂化粧板	備 考 遮音移動間仕切		
		■特記事項 ・網戸とあるは全て樹脂製とする。 ・SD網線、LSDの枠はｽﾍﾞｰﾙ鋼板 SDP とする。 ・7ｽﾍﾞﾙ製鍵具網線は7ｽﾍﾞﾙ電解着色とする。 ・枠見込み : 198 (多目的便所のみ 354) とする。							

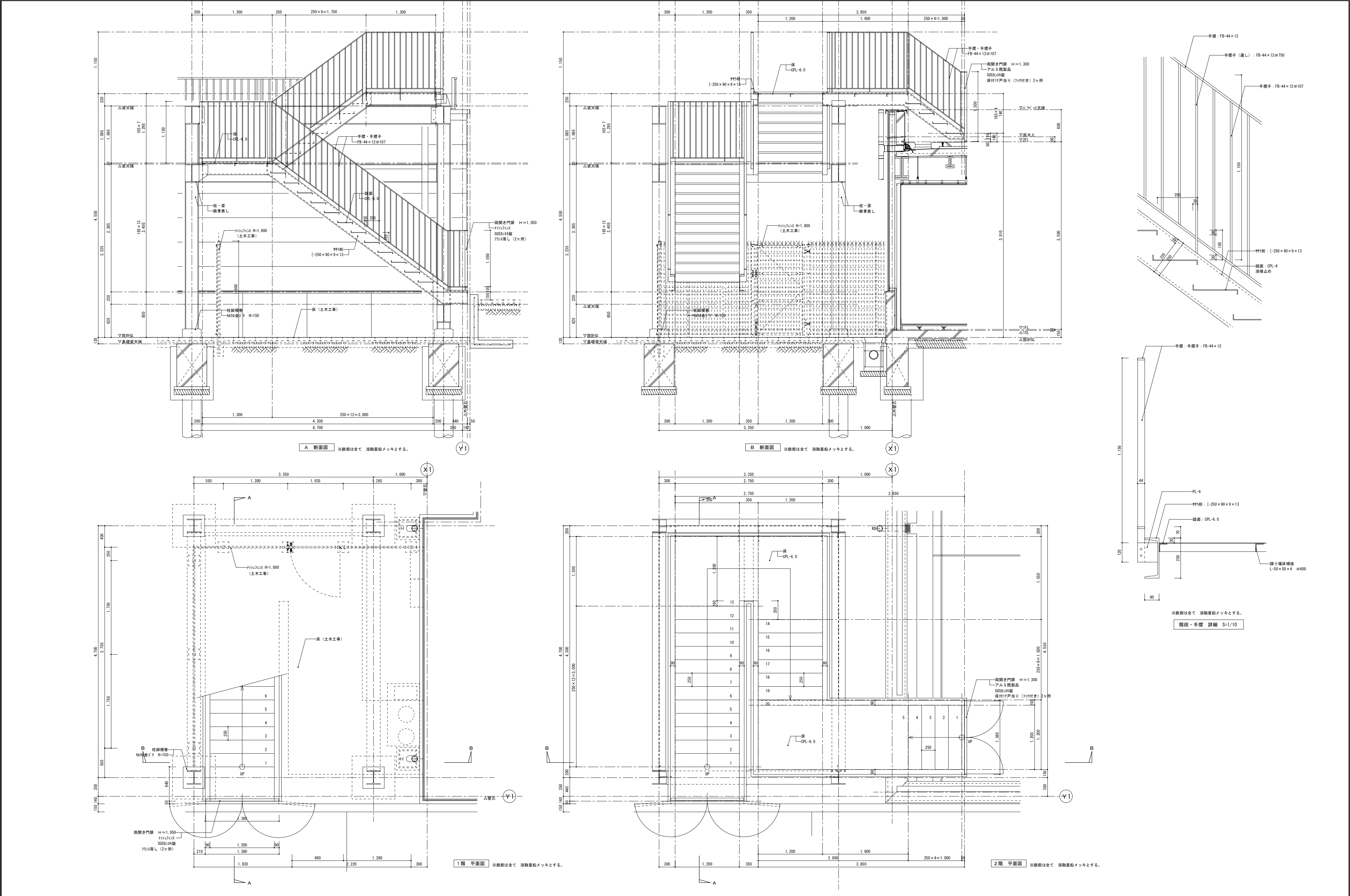


■SUSラック 詳細図 S=1/10			■屋上室外機置場 フェンス 詳細図 S=1/10		
					
■ハト小屋 詳細図 S=1/10			■7&底（既製品） 詳細図 S=1/5		
					
■LSD-3・4（戸袋仕様） 詳細図 S=1/5			■天井廻縁 詳細図 S=1/10、1/3		
					
■天井廻縁 詳細図 S=1/10、1/3			■ブラインドボックス 詳細図 S=1/10		
					
MEMO			株式 会社 ジェイエー津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		
			製作年月日 訂正年月日		
			御承認		
			作 図		
			工事名称 図面名称		
			令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事 管理棟 部分詳細図（1）		
			縮尺 1/10、1/5（A1）		
			図番 A-17		









エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	O1号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	P11-CO-45
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（再生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸開方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	900mm
その他基本仕様	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法開口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室サイズ（内法高さ）	2280mm
	出入口方式	一方出入口
	正面側停止数	2停止（1-2階）
	動力用電源	AC3Φ-210V-60Hz
	照明用電源	AC1Φ-100V-60Hz
	耐震設計施工耐震クラス	クラスA14
	出入口幅特殊（乗場）	2箇所
乗場仕様	出入口幅特殊（かご）	1箇所
	数居間隔	10mm
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ2D
	車いす仕様	あり（制御機能）
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通線）
	停電時自動着床装置	あり
	乗場三方枠	大枠床広幕板なし 301mm×600mm ステンレスヘアライン（1-2階）
	乗場戸	ステンレスヘアライン仕上（1-2階）
	乗場数居	アルミ製（1-2階）
かご室仕様	乗場インジケータ	一体セグメントLED ステンレスヘアライン（1-2階）
	乗場インジケータ形ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED（1-2階）
	灯止灯	あり
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート一体形 ステンレスヘアライン仕上（1-2階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED（1-2階）
	乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込
	天井	LEDフラット（白色LED）
	かご室壁・戸	化粧銅板
	袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
	巾木	アルミ製
その他仕様	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室数居	アルミ製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート材質・仕上	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED
	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（5.7インチ） CUDO認定品
	かご操作盤液晶表示言語	4ヵ国語ガイド（通常時：日英、緊急時：日英中韓、1画面表示）
	車いす専用かご操作盤	両側面に設置 プレート・ステンレスヘアライン仕上
	車いす専用かご操作盤インジケータタイプ	セグメントLED
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED
その他仕様	かご室換気	ラインフローファン
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
	かご室鏡	合せガラスアルミ枠付（570mm×1400mm）
	壁保護幕	あり（磁石式）
	床保護マット	あり
	気配りドア	あり
	ホールモーションセンサ<3D>	あり
	遠征機能	なし
	点字名板取付方法	接着
	おもり非常止め	なし
その他仕様	火災時管制運転方式	なし
	インターホン型式	6V1局
	乗場インターホンボックスタイプ	銅板塗装仕上（露出形）
	かご内アナウンス	かご内4ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室スピーカー	あり
	フェッシャープレート	エレベーター手配（2階）
	レール支持方式	立柱方式
	煙感知器点検口スイッチ	なし
	仮設動力電源	客先手配 (NN19054324)

No. 01号機

除外工事事項

建築工事関係

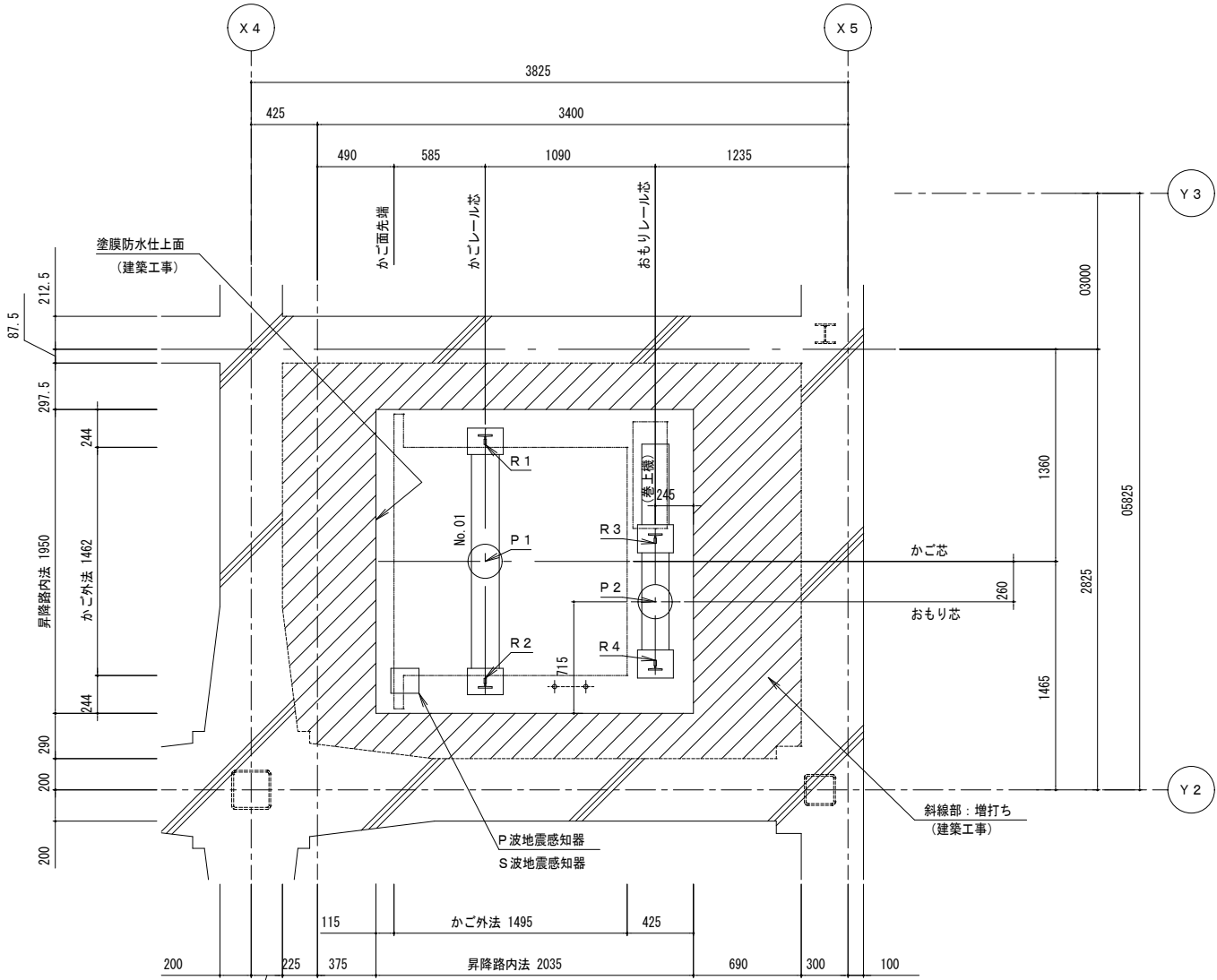
- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事  
（昇降路壁は5cm<sup>2</sup> 辺り300Nの外力が作用した時に1.5mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造間のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造間の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器機重用のフック又はビームの設置工事（20kN）/台
- 通過層がある場合の非常口設置工事
- ビット内防水仕上工事
- ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- ビットが深い場合の埋め戻し工事
- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（架け込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（φ9φ×10本）/台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 避難ドアご採用の場合、避難ドア設置間乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの通隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- ビット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）  
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある  
—カビ内干Vカメラがある場合、かご内干Vカメラ用配管—  
—配線工事—（昇降路からモニター設置場所まで）  
—5G—2V同軸ケーブル  
—5G—2V同軸ケーブル—
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示第1413号第1第三号により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります）  
発熱量 エレベーター駆動部（875W/1台）  
+エアコン（— W/1台）

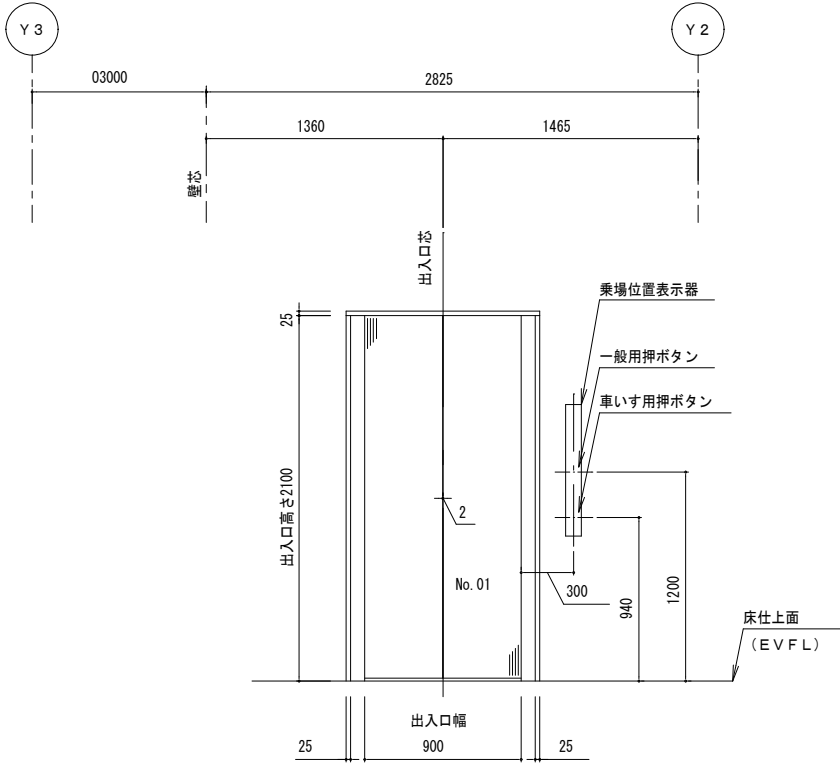
注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm<sup>2</sup> 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です  
（1）昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと  
（2）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
- 屋上等直接外気と接する乗場における雨水受け設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しにしないこと  
（建築基準法施行令第129条の2の5第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回路対応のものを使用すること
- 輸送可能な遠送配線率や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります  
次の対策をお勧めします  
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する  
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）  
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工します。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあります



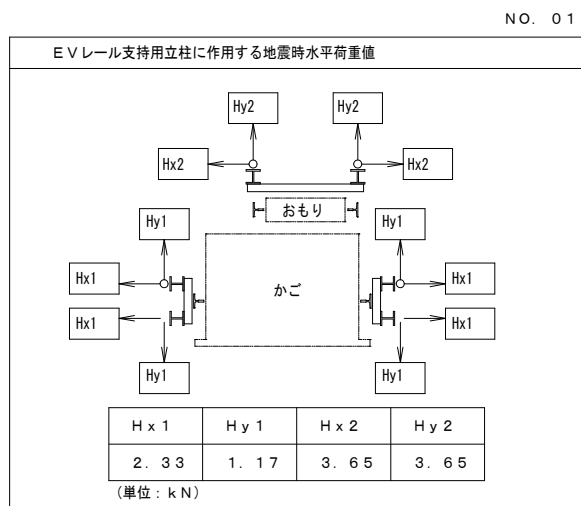
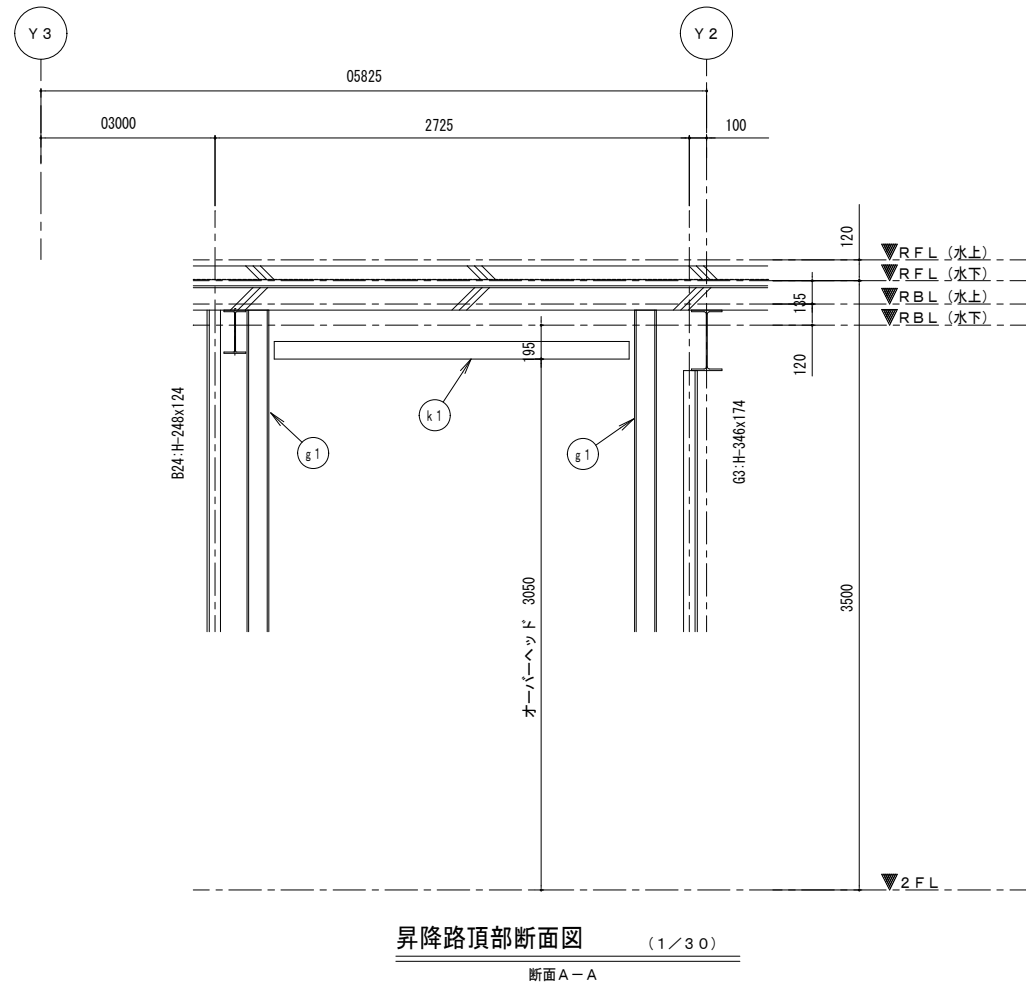
昇降路平面図 (1/30) (ビット)

レール下端部荷重（長期荷重）				ビット荷重（短期荷重）	
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)	P1 (kN)	P2 (kN)
28.2	27.8	49.8	23.9	89.5	71.6



乗場正面図 (1/30) (1-2階)





部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居受け金具取付材	L-100×100×7	建築工事
f 1	レールブラケット取付用立柱	H-125×125×6. 5×9	建築工事
f 2	レールブラケット取付用立柱	H-150×150×7×10	建築工事
g 1	レールブラケット取付用立柱兼 描量ビーム取付用立柱	H-125×125×6. 5×9	建築工事
g 2	描量ビーム取付用立柱	H-125×125×6. 5×9	建築工事
k	描量ビーム	H-125×125×6. 5×9	建築工事

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 <sup>(*)</sup>	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3Φ210 V 60 Hz	3.8 kW	4 kVA	40 A	100 mA以上 0.2 秒以上	70 mm <sup>2</sup> まで 121 mm <sup>2</sup> まで 185 mm <sup>2</sup> まで	8 mm <sup>2</sup> 14 mm <sup>2</sup> 22 mm <sup>2</sup>

(\*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

号機名	電源電圧 周波数	照明電源容量	電源側NF容量	電線サイズ	接地線サイズ	
01	AC1Φ100 V 60 Hz	1 kVA	20 AT	43 mまで 76 mまで 118 mまで	8 mm <sup>2</sup> 14 mm <sup>2</sup> 22 mm <sup>2</sup>	2.0 mm <sup>2</sup>

電源引出込み口 (最下層天井付近)

動力用 AC 3Φ - 210V - 60Hz

照明用 AC 1Φ - 100V - 60Hz

D種接地工事

- ・インターホン用配管配線工事
- ・CPEV-0. 9×5P
- ・遠隔監視用配管配線工事
- ・PVC-0. 65×4C
- ・カゴ上ズーカ用配管配線工事
- ・HP1. 2mm×3C

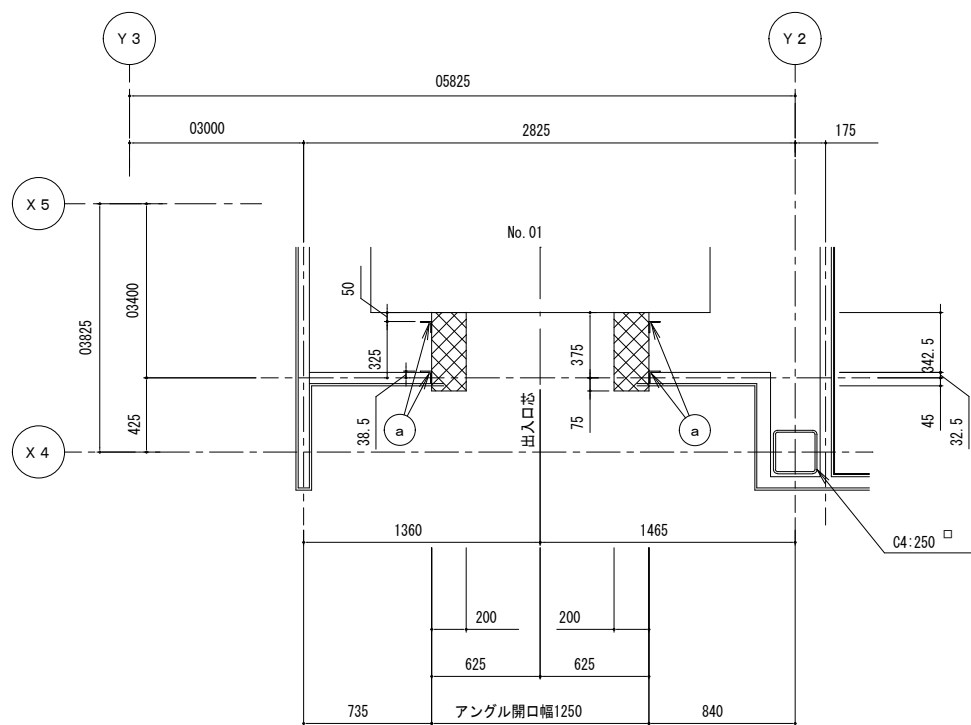
電源線引出し長さ 天井高さ+350mm

高調波対策（高調波流出電流計算値）																	
高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分組 編分 No.	6パルス 換算係数 (K i)	6パルス等価 容量 [K i × P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電圧に対する高調波電流発生率 I n (%)							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ （標準）	O 1号機  AXIEZ (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	32					1.8	8.6	25	38	14.5	7.4	3.4	3.2	1.9	1.7	1.3	

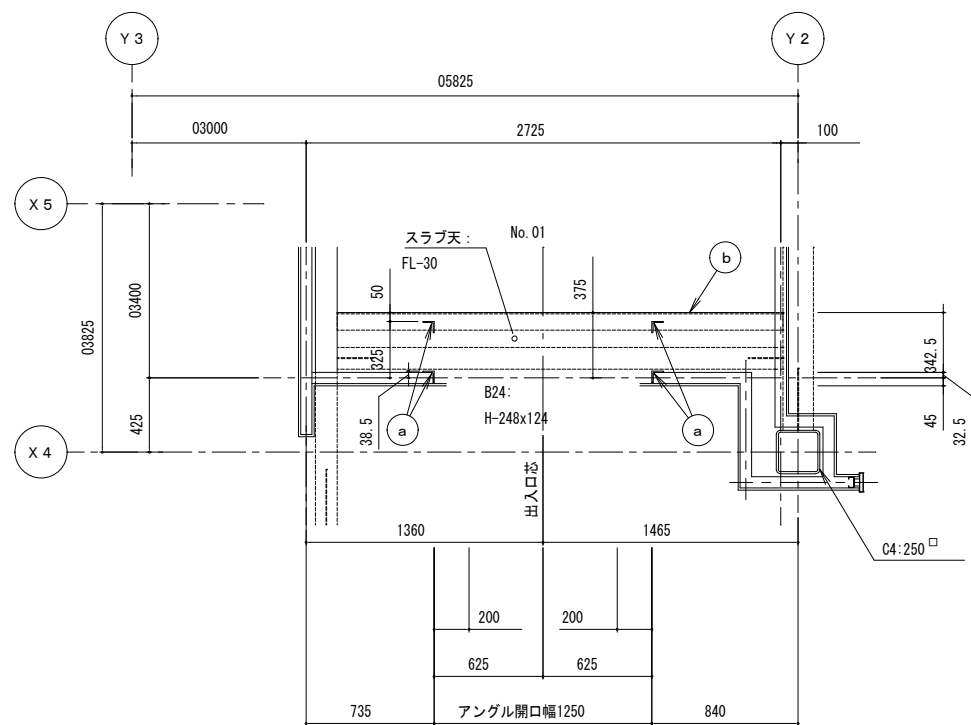
高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新 경우에는 「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

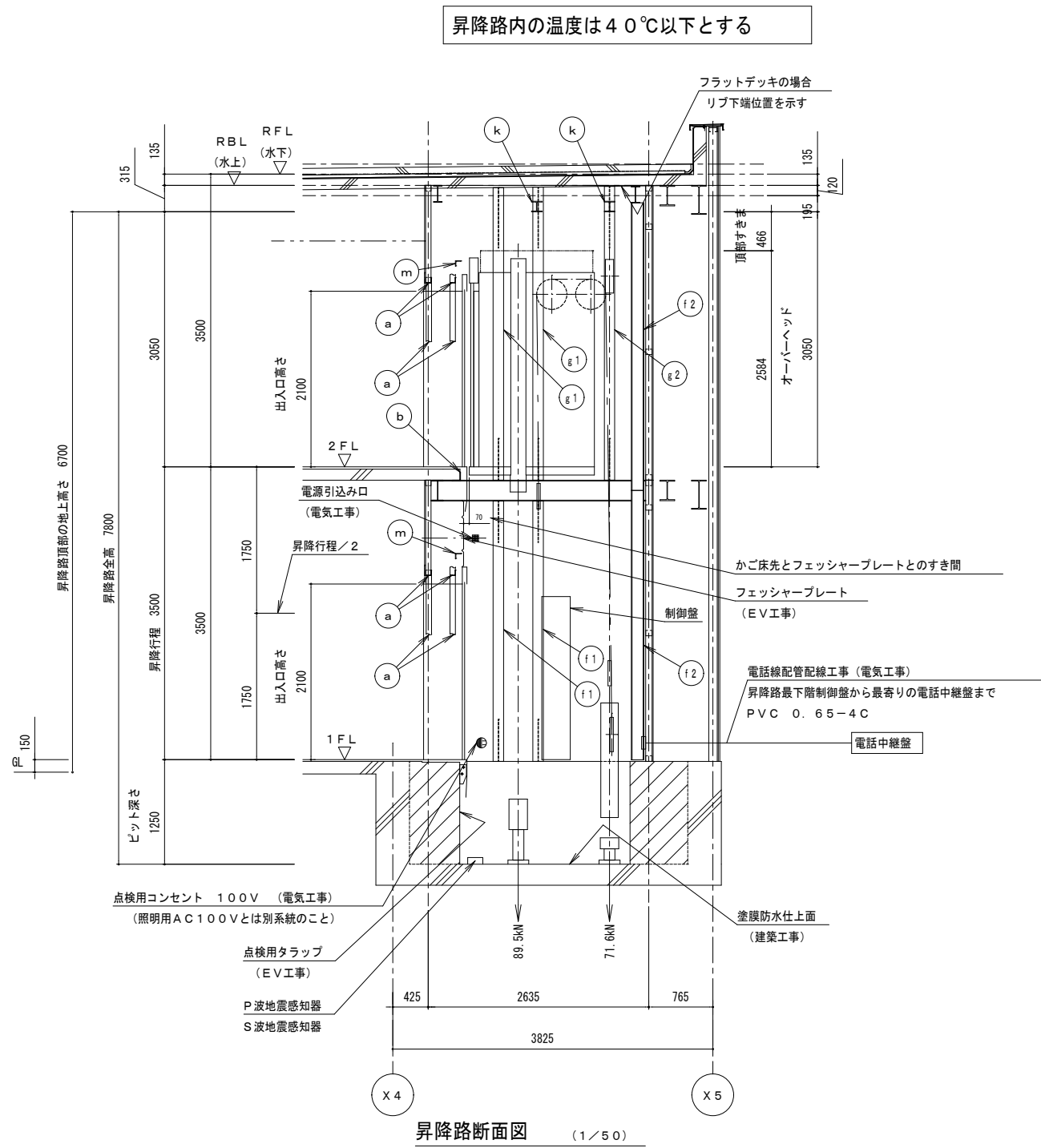
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$



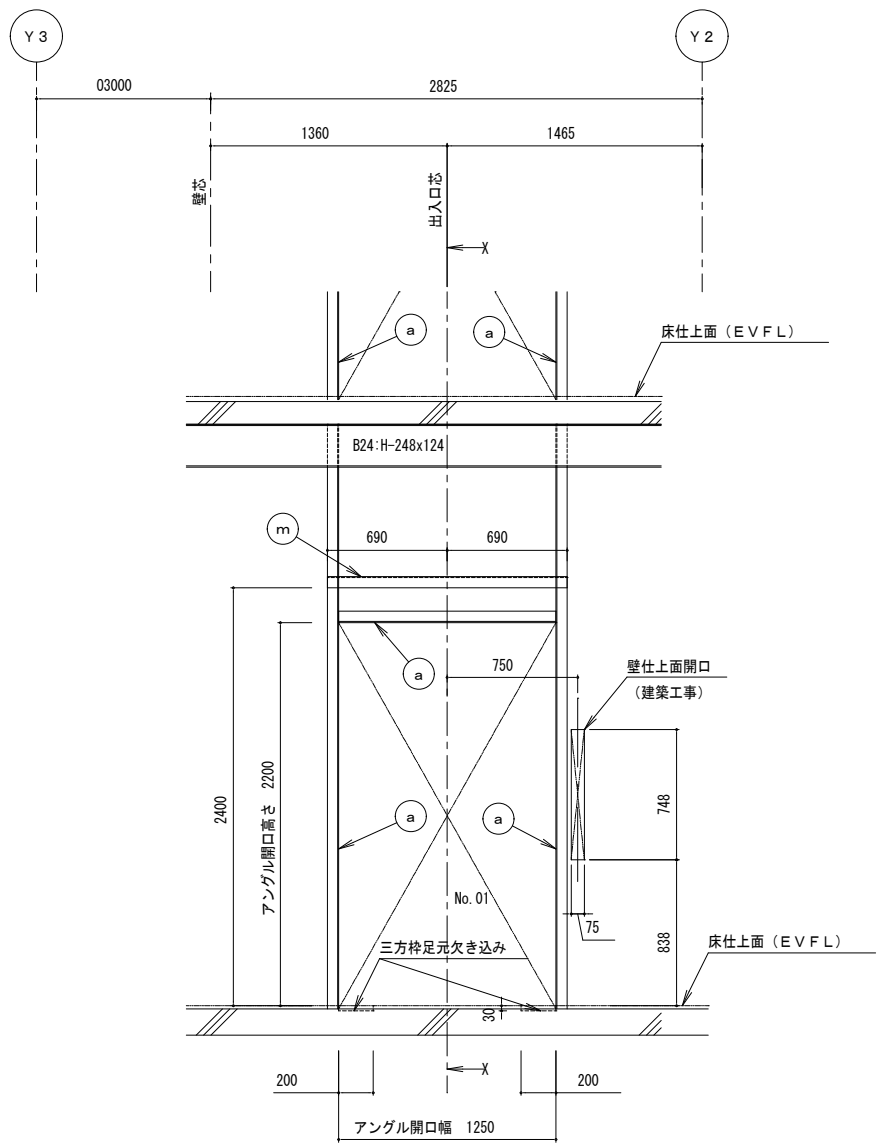
乗場平面穴あけ図 (1/30)  
(1階)



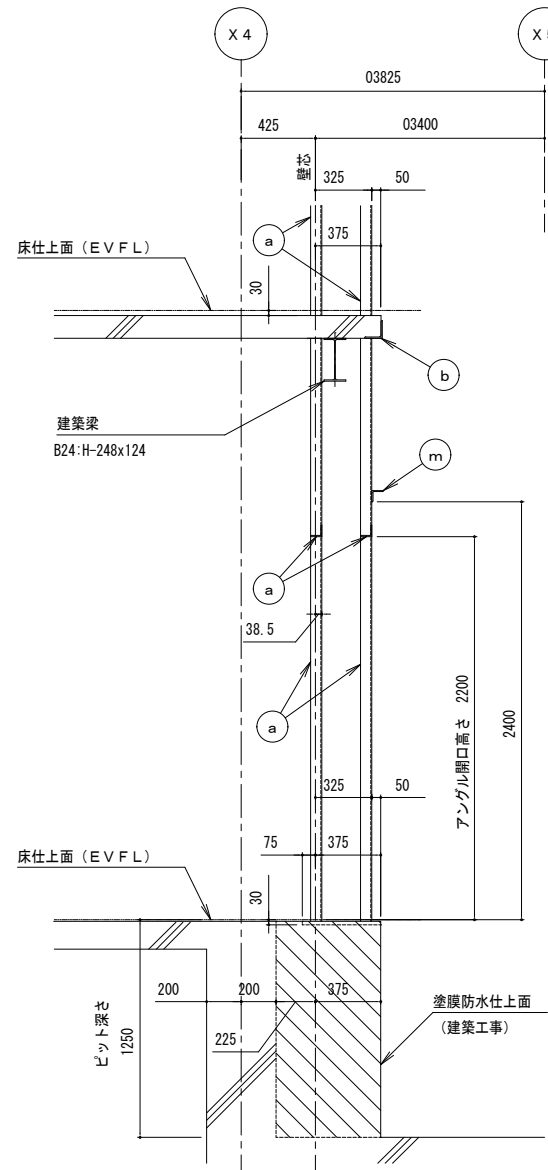
乗場平面穴あけ図 (1/30)  
(2階)



昇降路断面図 (1/50)

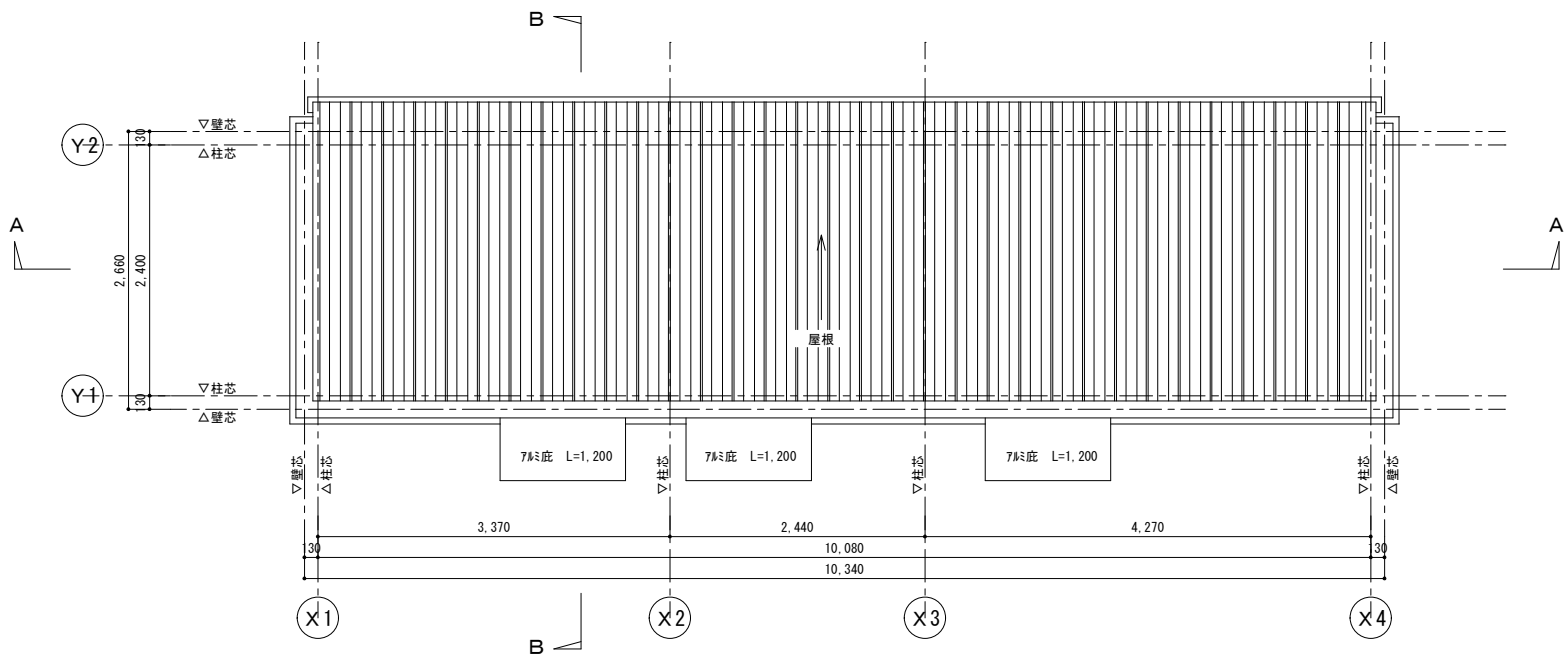


乗場穴あけ図 (1/30)  
(1-2階)

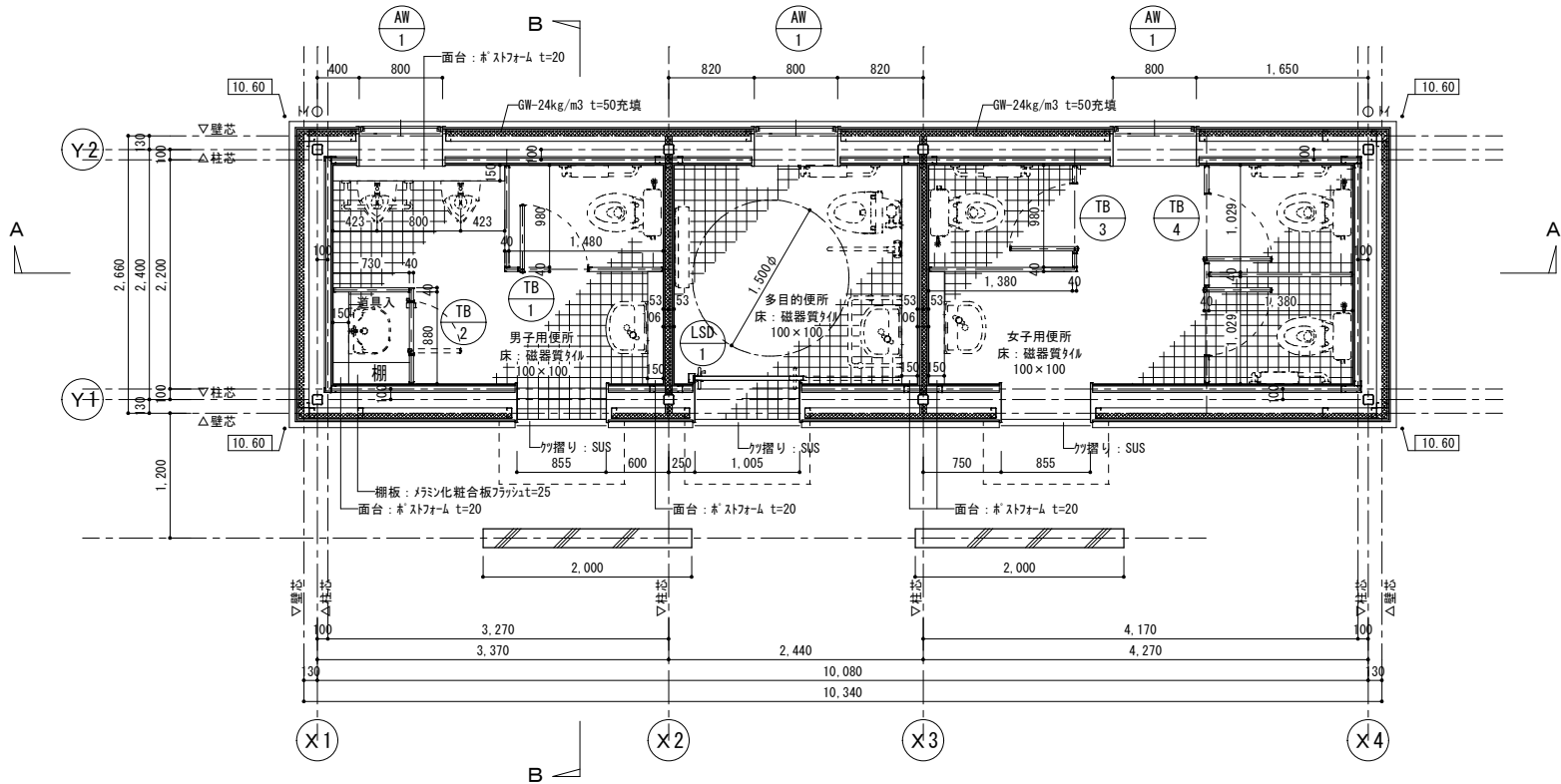


X-X断面

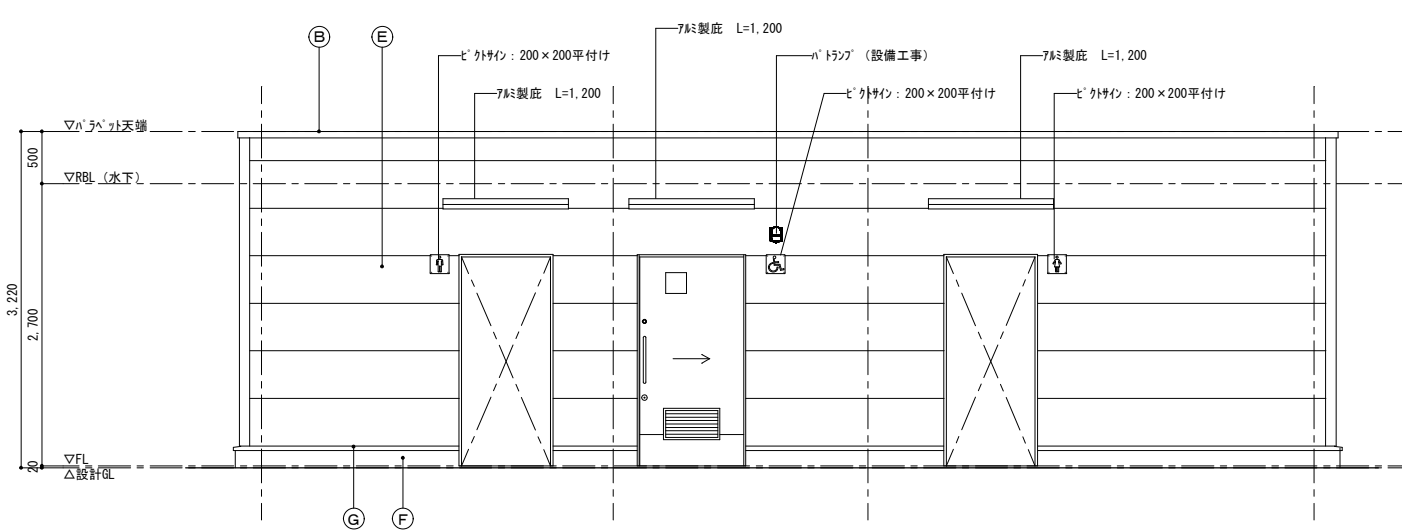
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居受け金具取付材	L-100×100×7	建築工事
f 1	レールブラケット取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
f 2	レールブラケット取付用立柱	H-150×150×7×10	建築工事
g 1	レールブラケット取付用立柱兼 揺置ビーム取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
g 2	揺置ビーム取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
k	揺置ビーム	H-125×125×6.5×9	建築工事
m	ハンガーケース取付材	L-65×65×6	建築工事



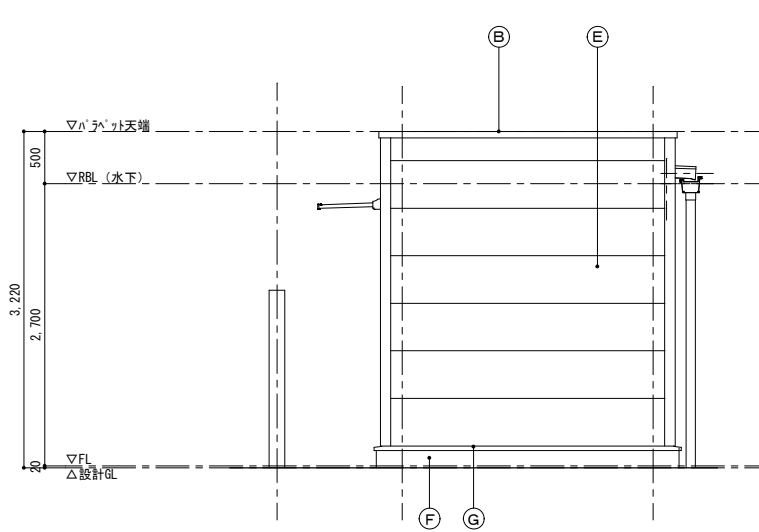
平面詳細図 S=1/50



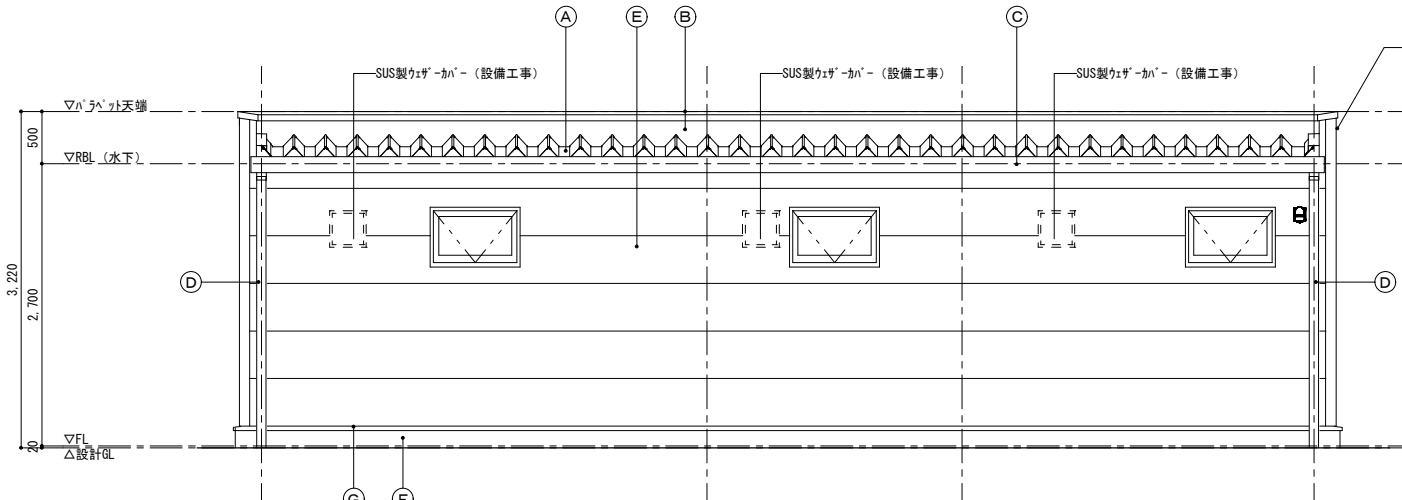
平面詳細図 S=1/50



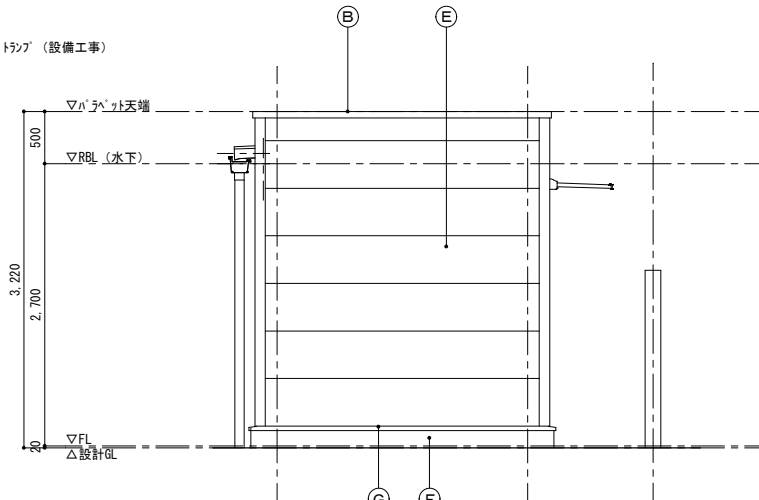
東立面図 S=1/50



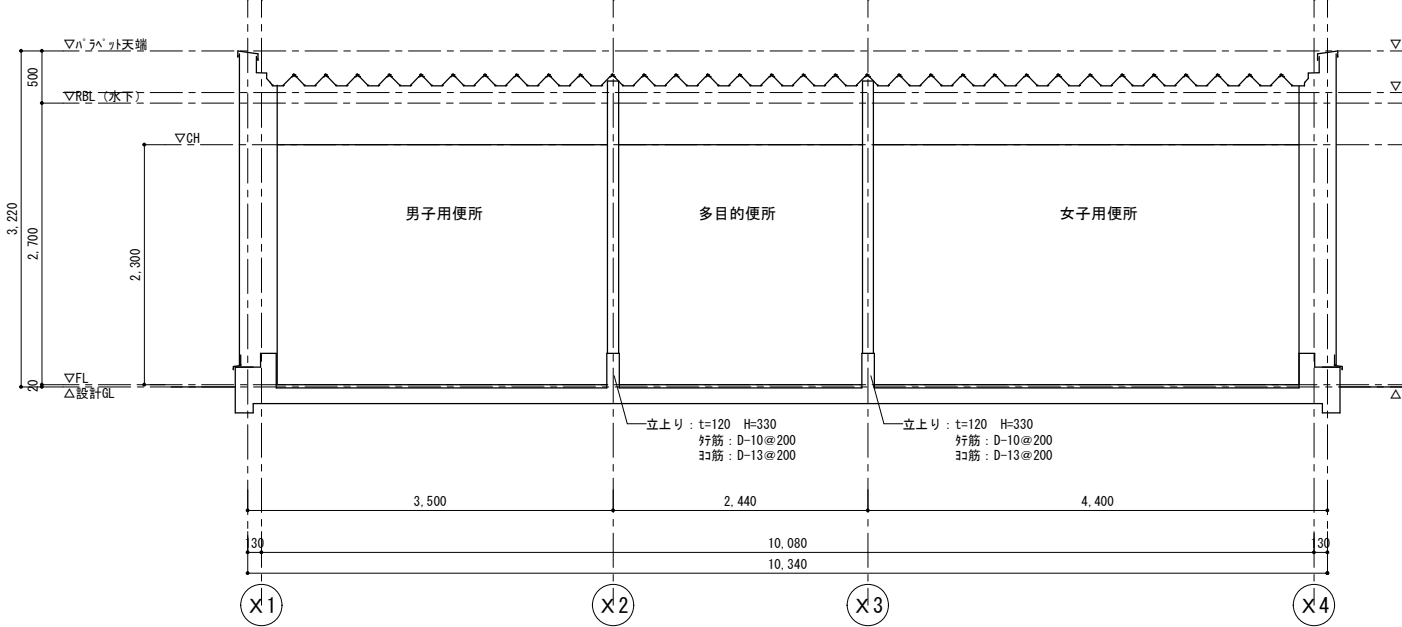
北立面図 S=1/50



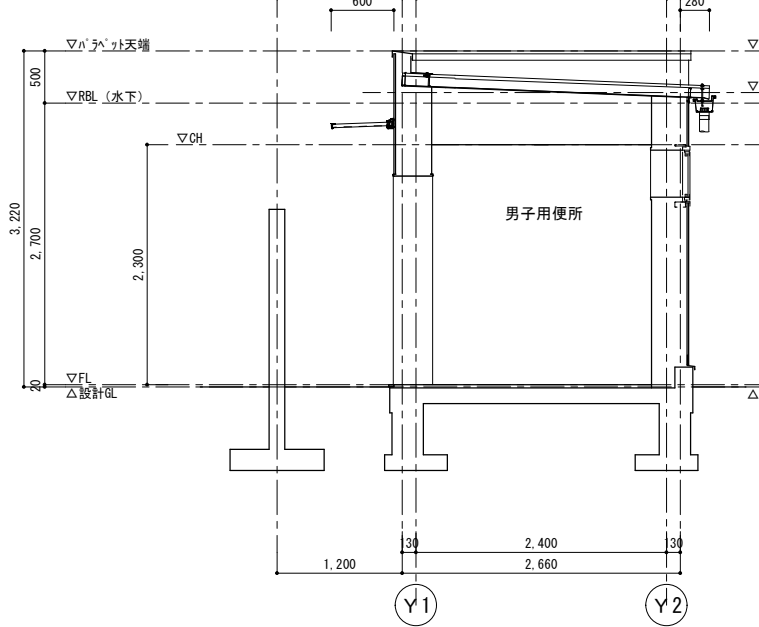
西立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50



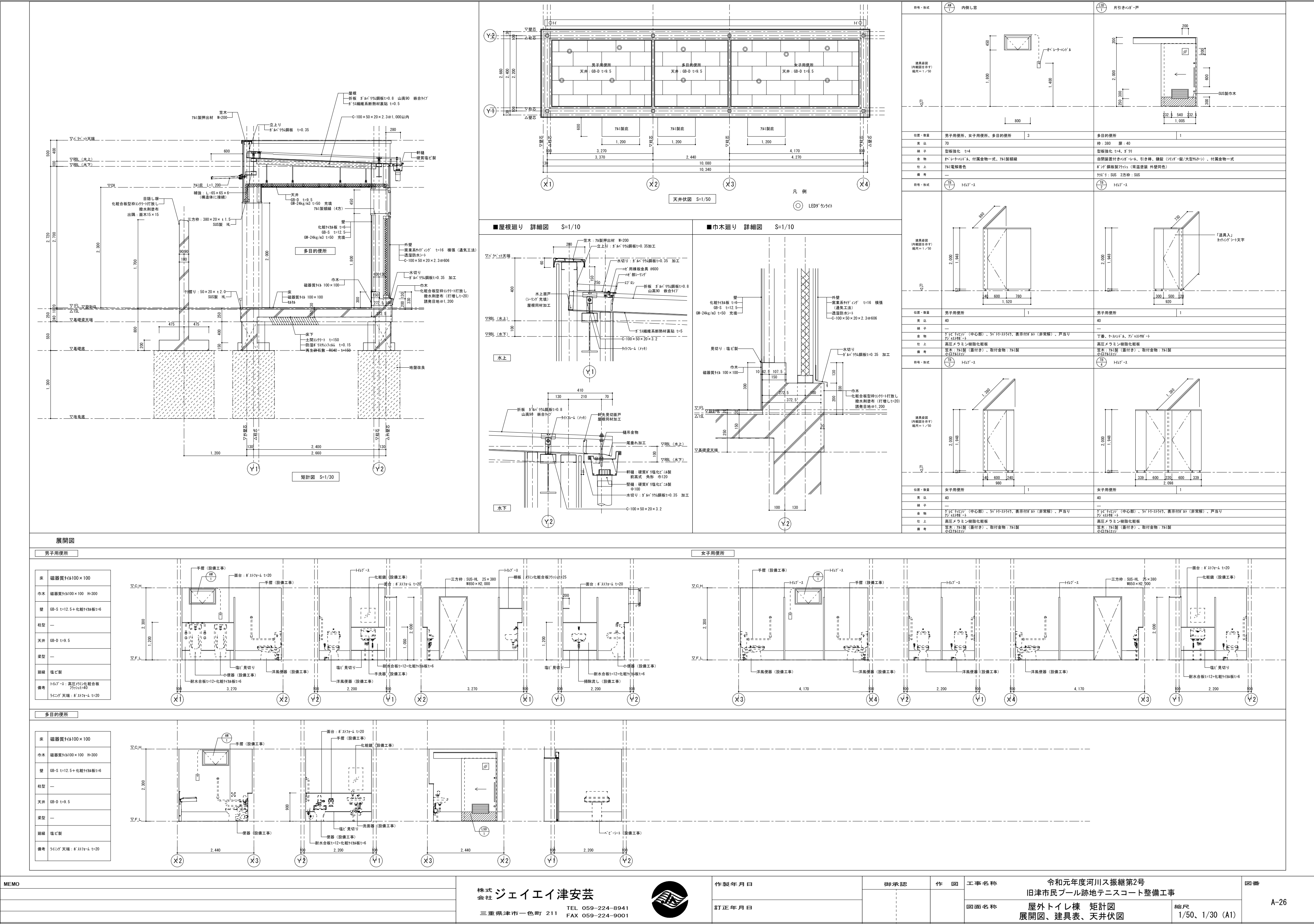
A断面図 S=1/50

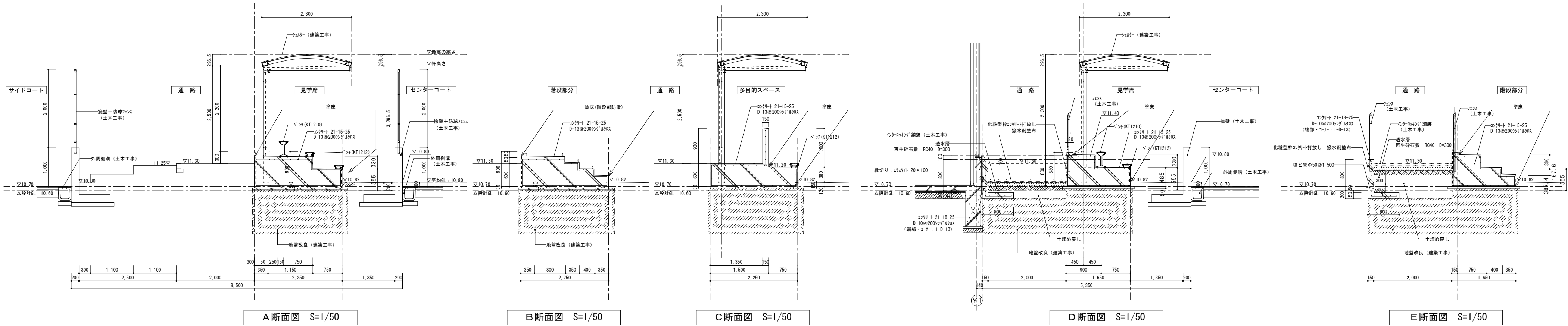


B断面図 S=1/50

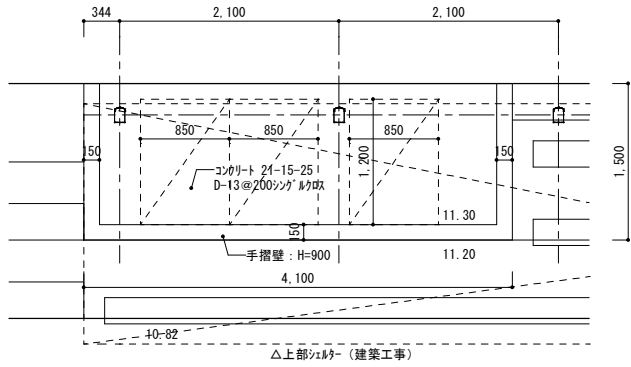
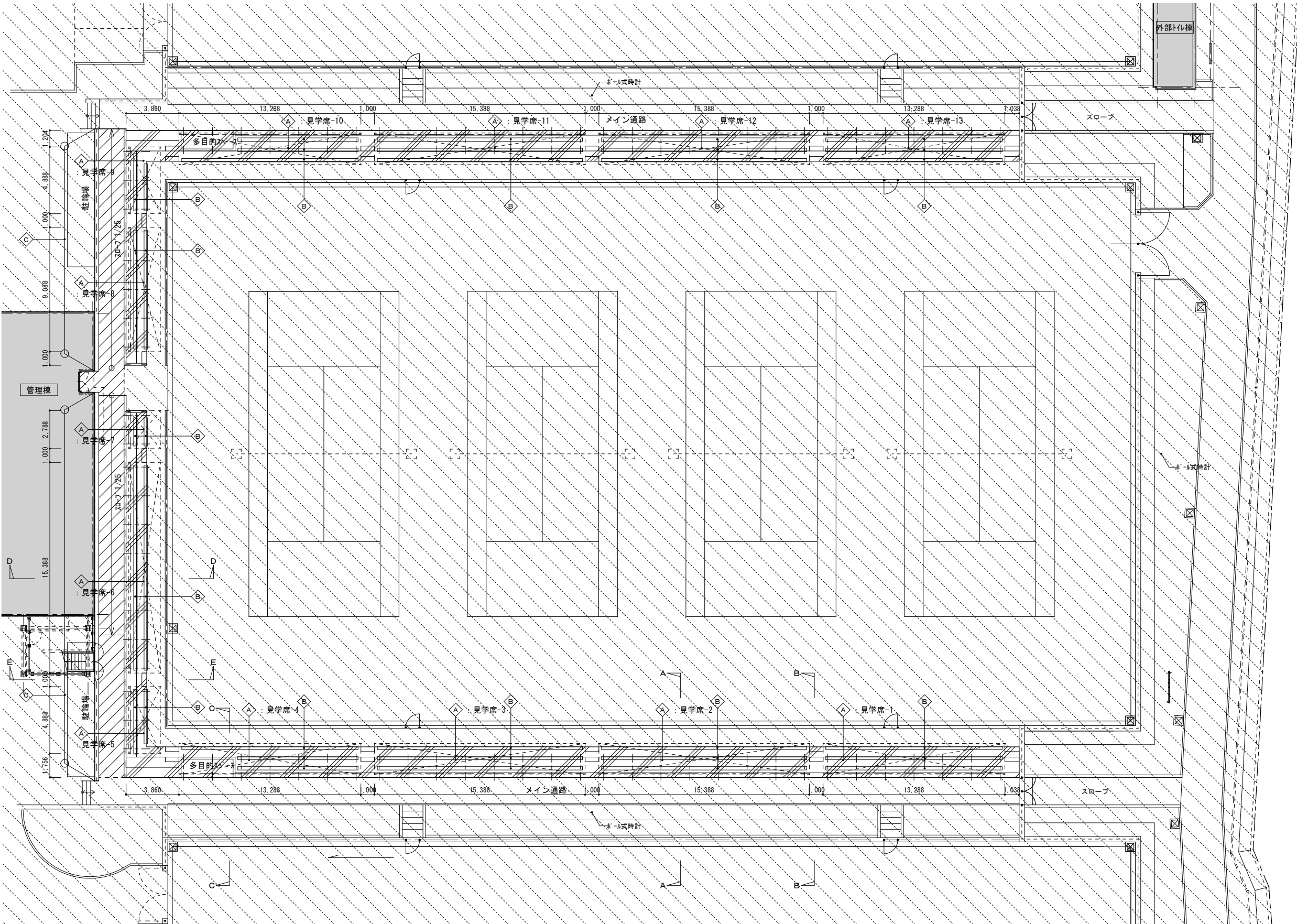
屋外トイレ棟 外部仕上	
A	屋根 折板 ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t=0.8 山高90 嵌合ﾀｲﾌﾟ ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ系断熱材表貼 t=0.5
B	ﾊﾞﾗﾝｽﾞ 笠木: 7x13製押出材 W=200 立上り: ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板 t=0.35
C	軒 樋 硬質ﾌﾟﾘﾝﾄﾞﾙｰﾌﾟ製 前高式 角形 巾120
D	壁 樋 硬質ﾌﾟﾘﾝﾄﾞﾙｰﾌﾟ製 巾100 樋内金物: SUS製 既製品 巾1200
E	外 壁 窯業系ﾀｲﾌﾞﾙｰﾌﾟ t=16 横張 (通気工法)
F	巾 木 化粧合板型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 撥水剤塗布
G	水 切 ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t=0.35加工
開口部 窓: 7x13ﾀｲﾌﾟ (7x13付処理) 扉: ｽﾏｰﾄﾞｱｰ (ﾌｯｿ樹脂焼付塗装)	

外部トイレ棟 内部仕上表																					
階	室 名	床			巾 木	壁			天 井					室名札	備 考						
		FL	下 地	仕 上	仕上 高さ	下 地	仕 上	柱 型	下 地	仕 上	梁 型	廻 縁	天井高								
1 階	男子用便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧タイル貼板 t=6 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.300	トイレブース：高圧洗浄化粧合板フラッシュ t=40 タイルの天端：タイル上+△t=20 棚板：タイル化粧合板フラッシュt=25							
	女子用便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧タイル貼板 t=6 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.300	トイレブース：高圧洗浄化粧合板フラッシュ t=40 タイルの天端：タイル上+△t=20							
	多目的便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧タイル貼板 t=6 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.300	タイルの天端：タイル上+△t=20							
表示 略号	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り		OS	オイルステイン塗り		ALC	軽量気泡コンクリートパネル		GB-R	せっこうボード		RW	ロックウール		SLF	均しモルタル（セルフレベリング工法）				
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り		OSV	オイルステインワニス塗り			EGP	押出成形セメント板		GB-F	強化せっこうボード		GW	グラスウール吸音材		FF	乾式遮音二重床システム+バネ・タイル貼板+△t=20			
	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り		B-AE	アクリル樹脂系統付塗装		RC	鉄筋コンクリート		GB-S	シーリングせっこうボード		FB	フラットバー		SP	スチールパーテーション				
	OP	油性顔合ペイント塗り		DP	耐候性塗料塗り		S	鉄骨		GB-D	化粧せっこうボード		HL	ヘアライン仕上げ		TB	トイレブース（メラミンフラッシュ）				
	SOP	合成樹脂顔合ペイント塗り		WP	木製保護塗料塗り		LC	軽量コンクリート		GB-NC	不燃積層せっこうボード		VU	硬質塩化ビニル管（薄肉管）		OR	カーテンレール				
	FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗り		LE	ラッカーエナメル塗り		GB	コンクリートブロック		GB-P	吸音用あみこせっこうボード		VP	硬質塩化ビニル管（一般管）		AB	アルミ製暗幕ボックス				
	VE	塩化ビニル樹脂エナメルペイント塗り		NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り		LGS	軽量鉄骨		GB-L	せっこうラスボード		SGP	配管用炭素鋼鋼管（白鉄5管）		BB	アルミ製ブラインドボックス				
	UE	ポリウレタン樹脂ペイント塗り						PC	プレキャストコンクリート		DR	ロックウール化粧吸音板		RD	ルーフトレイン						
	AE	アクリル樹脂エナメルペイント塗り					SUS	ステンレス鋼（304）特記無き限り		タイル貼板	繊維混入けい酸カルシウム板		DP	壁樋							
	CL	クリアラッカー塗り					ST	スチール		FPB	フォームポリスチレンボード										
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り					AL	アルミニウム		RW-B	ロックウール吸音ボード										
										GW-B	グラスウールボード										

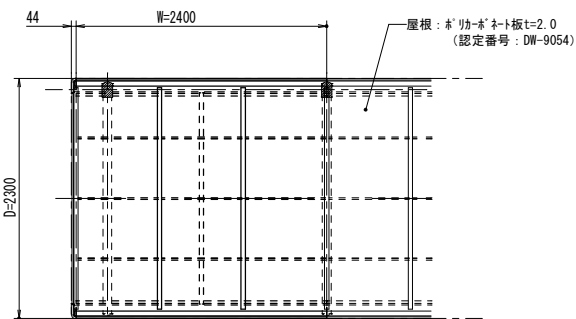




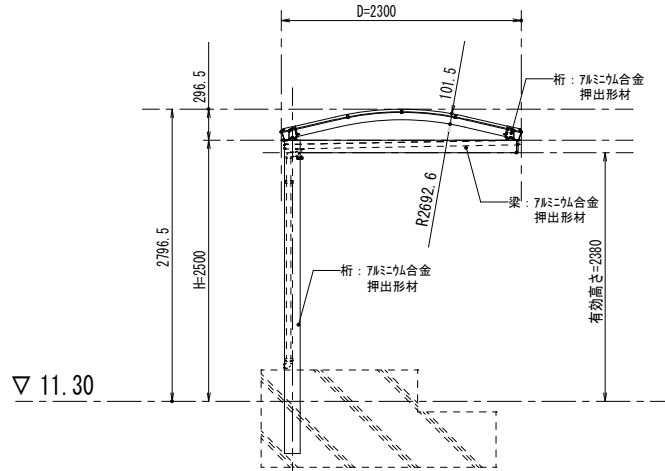
※ 見学席の接地地盤 ≧ 10.80より、平均値=10.80とする。



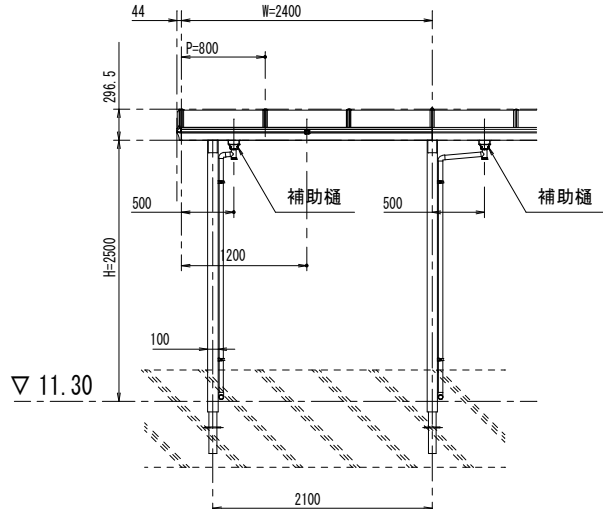
多目的スペース平面図 S=1/50



シルター屋根伏図 S=1/50



シルター側面図 S=1/50



シルター立面図 S=1/50

731製シルター 材質仕様書

名 称	材 質
柱	アルミニウム合金押出型材
梁	アルミニウム合金押出型材
桁・妻座木・垂木	アルミニウム合金押出型材
中継	アルミニウム合金押出型材
パネル押え	アルミニウム合金押出型材
屋根パネル	ポリカーボネート板 t=2.0 (国土交通大臣認定番号: DW-0054)
桁受けブラケット	一般構造用圧延鋼材 t=1.0
コーナー金具	一般構造用圧延鋼材 t=1.0
補助縫	アルミニウム合金押出型材
雨樋	アルミニウム合金押出型材
端部キャップ	アルミニウム合金継物
ボルト等	ステンレス

※ シルター 基準風速 V0=34m/s  
積雪荷重 600N/m<sup>2</sup>

■凡例

観覧席	コンクリート21-12-18 重均し仕上 D-13@200ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｸﾞ 下部 地盤改良
20-7・通路	舗装、土埋め戻しまで建築工事 コンクリート21-12-18 重均し仕上 下部 地盤改良
建築工事外範囲	

A	731製シルター フリンクド S R屋根 偏芯柱ﾀﾞｸﾞ (三共立山731)
B	ﾊﾞｼﾞ 長谷川体育 KT-1212、1210 (標準色)
C	ｺﾝｸﾘｰﾄ補修 化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 塗床 下部 地盤改良

MEMO

株式会社ジェイエー津安芸  
三重県津市一色町 211

TEL 059-224-8941  
FAX 059-224-9001



作製年月日

訂正年月日

御承認

作 図

工事名称

令和元年度河川ス振継第2号  
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称

外構図(完成)

縮尺  
1/200, 1/50(A1)

図番

A-27